

会長のページ	AIについて	河野 雅行	3
COVID-19報告	新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（11月5日現在）	吉田 建世	4
特集	医療秘書（4）		
	日本医師会認定医療秘書について	池井 義彦	6
退任挨拶	宮崎大学学長退任挨拶	池ノ上 克	8
就任挨拶	宮崎大学学長就任挨拶	鮫島 浩	9
	宮崎大学医学部医学部長就任挨拶	菱川 善隆	10
	宮崎大学医学部附属病院病院長就任挨拶	帖佐 悦男	11
	宮崎大学医学部教授就任挨拶 …… 渡邊 望, 宮崎 泰可, 古川 貢之, 荒川 英樹		12
エコー・リレー（556）		平部 久彬, 池田 俊郎	17
メディアの目	宮崎の未来 肥満の影	梅山 崇	18
身近なお困りごと相談室			19
宮崎大学医学部だより（感覚運動医学部講座－顎顔面口腔外科学分野－）		山下 善弘	30
専門分科医会だより（放射線科医会）		杜若 陽祐	31
ニューメンバー		井上 正浩	42
診療メモ	舌下免疫療法における樹状細胞の役割について	宮永 宜明	66
宮大医学部学生のページ	部活動紹介 ～陸上競技部～	吉田 朋史	68

あなたできますか？（令和2年度医師国家試験問題より）	16
叙勲・祝賀	20
褒章・祝賀	21
表彰・祝賀	22
宮崎県感染症発生動向	26
各郡市医師会だより	28
第2回各郡市医師会長協議会	32
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会合同会議	34
県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	36
ベストセラー	37
日医インターネットニュースから	38
医師国保組合だより	40
会員の異動・変更報告	44
理事会日誌	46
県医の動き	50
ドクターバンク情報	51
行事予定	57
医学会・講演会	59
令和3年総目次	70
あとがき	88

お知らせ	医療勤務環境改善支援センター	25
	年末・年始の休館について	33
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内	42
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	43
	医師年金ご加入のすすめ	49
	日州医事へのご意見・ご感想	55
	郡市医師会への送付文書	84

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

父と息子

2018年12月、ようやく念願だった油絵をはじめました。

いつも旅で出会った人々の何気ない一コマがモチーフです。この絵は道行く超正統派ユダヤ教(?)の2人の紳士。父と息子だろうか…そう思いながら描きました。

宮崎市 あさみ めい こ
浅見 鳴子

会長のページ

AIについて

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

新幹線の自動運転試行のニュースがありました。AIの進歩は目覚ましく、発展速度は想像を絶していますが、さまざまな形で日常生活にも浸透しています。企業においてはすでに機械の調子診断や管理にはAIが欠かせません。日常生活でもセキュリティや家電製品は勿論、スマホは生活から手放せません。その他、船舶や航空機では一部自動化され、車の運転も近い将来は完全自動化が見込まれています。最先端の技術が運用される兵器は大部分がAIでコントロールされているそうです。私たちの日常生活も豊かで便利になりましたが、便利になっても楽にはな

らずAIに振り回されてますます忙しくなった感があります。

医療の面では健康チェックや疾病診断に応用されています。人の個体差は機械と同じではないとの意見もありますが、チェック項目を増やしていけば、人では困難でもAIであれば瞬時に正確に判断できます。部分的にAIは人の能力を凌駕しています。 π の計算や遺伝子解析などは好例です。

日医でもAIの医療活用を重要視し、第一線の研究者を招聘してレクチャーを受け討議を重ねています。講師によれば、病理や画像分析の分野ではすでにAIが導入されていますし、外科系の手術もダ・ビンチを始めとした補助機械が利用されつつあります。受付業務や介護・看護の補助としてAI搭載のロボットも使用されています。さまざまな検査や疾患診断も早く正確にできるようになりました。患者さんには苦痛である検査も、数滴の血液で多くの診断ができます。そのうち血液さえも必要なくなるかもしれません。手術における自動化の研究もされているようです。

医師不足問題もAIに任せれば、現在のような医師は不要時代の到来が笑い話で済まなくなるかもしれません。他の業種でも将来はAIが人間の仕事を奪ってしまうのではないかと真剣に語る人がいます。

このままであればAIはどこまで進歩するか予想できません。生命の根源にまで関与するようになれば、SF映画のように人間の存在までも問われかねない考えるのは飛躍しすぎでしょうか。どこかで歯止めが必要になると思われます。科学は暴走しないように必ず人の管理下で人類の福祉に役立てるべきです。過去に人類は核物理学研究の果てに原水爆を作った苦い失敗の経験があります。これは現代社会の汚点の一つであり、なかった時代に戻すことはできません。AIも今のうちにしっかりした理念を設けて、利便性のみを追求した偏った発展には歯止めをかけておかないと、先述した事態が荒唐無稽な話に終わらないかもしれません。

(令和3年11月18日)

COVID-19報告

新型コロナウイルス感染症に係る
県医師会の動き（11月5日現在）宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

新型コロナウイルス感染症は、令和3年7月より始まった「デルタ株」による「第5波」が、全国的に収束をみせ、新規感染者数が急激に減少し、現在は全国で200名を切るところまでになっている。それにともない、県境を越える移動制限及び飲食店に対する営業時間短縮の解除、イベントなどの人数制限緩和などが行われ、自粛生活から少しずつ行動できる生活に近づきつつある。

宮崎県においては、県民の努力により、「第5波」は令和3年9月末には収束をみせ、令和3年10月21日からは新規感染者は報告されていない。10月11日からは県内全域で制限が緩和されて、①会食時の「みやざきモデル」の徹底、②イベント開催における制限（収容率：大声あり50%以内、人数制限5千人または50%以内）、③高齢者施設、障がい者施設の面会は人数・時間を最小限で、④高齢者、基礎疾患のある方などの会食はいつも一緒にいる方と、になった。11月3日には入院・療養患者数も「0」となり、県の感染警報レベルが、令和3年3月27日以来の221日ぶりに、最も低い「持続的な警戒（レベル0）」になった。

新型コロナワクチン接種率は、全国的には全年代で2回目接種が全人口の72%となり、目標の7割を超えた。12歳以上の接種対象者では2回目接種が80%を超えている。しかし、宮崎県では、ここに来て全国に比べて接種率がやや低く、

特に都市部の接種が郡部に比べて低い状況にある。更なるワクチン接種を進めていただきたいと考える。

世界的に見ると、ワクチン2回接種が早く終わった国で、再度感染拡大がみられており、ワクチンによる抗体価の減少が関与していると考えられる。日本では、3回目接種が2回目から8か月を経過した人から順番に実施されることとなり、できるだけ多くの国民に3回接種を受けよう、医師会としても推奨していきたいと考えている。

11月5日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

- 10月19日 新型コロナウイルスワクチンの医療従事者等への3回目接種に関する意向調査について
- 11月5日 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事）

2 日本医師会からの情報収集

- 10月22日 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】

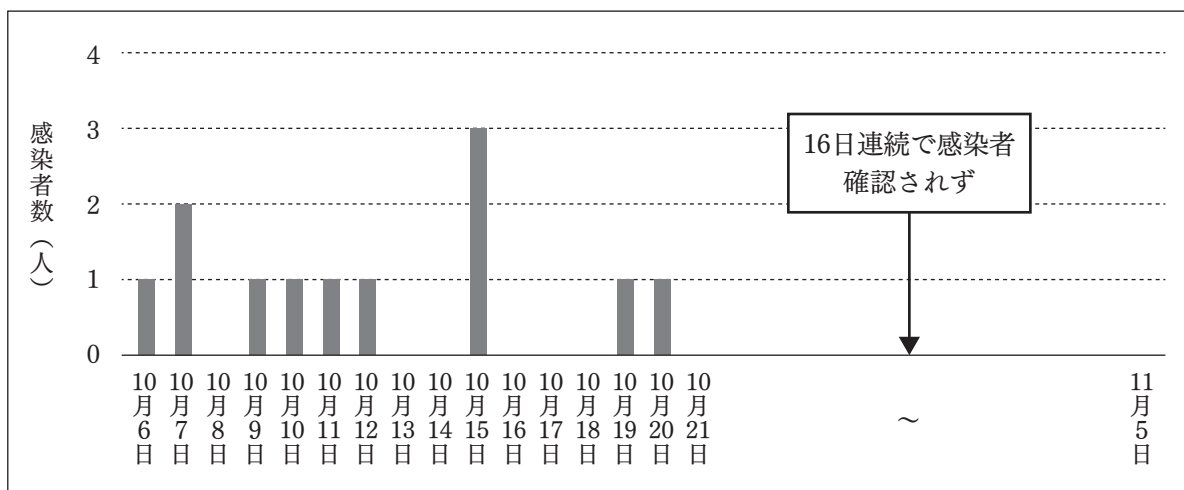
3 会員への情報発信等

FAXニュースの発信

10月18日	FAXニュースNo.490 新型コロナウイルス感染症への対応について (58) ● 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金
--------	---

4 患者発生状況（公表日）

感染者数（10月6日～11月5日） 12名



宮崎県医師会では、「新型コロナウイルス感染症」に関するさまざまな情報（診療・ワクチン接種の手引き、各種支援金・融資、診療報酬の取扱いなど）をホームページ（<http://www.miyazaki.med.or.jp/>）やメーリングリスト（MMA通信）にて随時お知らせしております。

メーリングリスト（MMA通信）への登録を希望される場合は、県医師会事務局宛（office@miyazaki.med.or.jp）にメールを送信してください。折り返し事務局から登録に関するメールを送信いたします。

特 集

医療秘書 (4)



日本医師会認定医療秘書について

宮崎県医師会 常任理事 ^{いけ}池 ^い井 ^{よし}義 ^{ひこ}彦

現在私は、日本医師会認定医療秘書運営委員ならびに試験問題作成委員を務めておりますので、日本医師会認定医療秘書について説明させていただきます。

最初に、勤務環境改善マネジメントシステムとは、各医療機関において、「医師、看護師、薬剤師、事務職員などの幅広い医療スタッフの協力の下、一連の過程を定めて、継続的に行う自主的な勤務環境改善を促進することにより、快適な職場環境を形成し、医療スタッフの健康増進と安全確保を図るとともに、医療の質を高め、患者の安全と健康の確保に資すること」を目的として、各医療機関のそれぞれの実態に合った形で、自主的に行われる任意の仕組みのことを言います。

宮崎県においても、勤務環境改善に取り組む医療機関を支援するために「医療勤務環境改善支援センター」を設置し、医療労務管理アドバイザーや医業経営アドバイザーが専門的・総合的な支援を行っております。

医師事務作業補助者は、2008年に治療や診察といった医療行為以外にも、さまざまな事務業務をこなさなければならない多忙なドクターの業務負担を減らす策の一つとして配置されました。医師不足問題を解消するいわば救世主として、現在ドクターズクリニックを必要としている病院が多くなってきています。病院によって業務内容は異なりますが、その仕事の内容は大きく分けて、医療文書の作成代行、カルテなどの代行記載・入力、医療の質を高める業務、行

政への報告業務の4つに分けられています。

医療秘書の仕事内容は、主に病院などで、医師や看護師の事務方としてのサポートを行う仕事です。

近年におけるわが国の医療は各分野において著しい発展を遂げ、その業務内容も複雑多岐にわたる広範なものとなりました。また、医療に対する国民のニーズも医療内容のみならず医療サービスの提供のあり方などについて多様化してきております。

医療秘書は、最新の医療遂行にあたり、医師の良き補佐役となることを目的として設けられた新しい医療職種です。スケジュール管理やデータ整理、来客応対、文書作成、ファイリング、電話応対など、業務内容は多岐にわたります。また、医療事務と同じように受付や会計、レセプト作成業務に携わることもあり、専門知識を持ちながら、幅広く医療業界での事務作業をこなしていける能力が必要とされています。

日本医師会認定医療秘書とは、1981年（昭和56年）より開始された日本医師会が主催する日本で最も古い医療秘書の認定資格で、専門的な医療事務の知識と最新の情報処理技能を兼ね備えた「日本医師会認定医療秘書」の養成を開始しました。養成は日本医師会が認定した養成機関で行われ、カリキュラムは、基礎的な医学知識、情報処理、秘書知識、ビジネスマナーまでしっかり学べる内容で、全国の医師が本当に求める医療秘書を養成しております。医療秘書として医師の業務をサポートするための実務業

務や、一般医療事務としても活躍できるような接遇・受付業務・電話対応・レセプトコンピュータの操作方法など幅広い技能とスキルが試されます。

国民の医療に対するニーズが多様化し、医療機関では事務職員をはじめとして優秀な人材の確保が求められています。即戦力として働くことができる日本医師会認定の医療秘書は、チーム医療の一員として医療機関で重要な役割を担うものと考えています。この職業に就くうえで国家資格や免許は必要ありませんが、医療秘書の技能検定に合格してから企業や医療機関の採用試験を受ける人も多いようです。

日本医師会の医療秘書は、現在14の県医師会が養成しており、外部教育機関に委託しております。宮崎県におきましては、宮崎学園短期大学、都城コアカレッジの2か所の養成校に委託しております。

日本医師会認定医療秘書の業務は、一般事務、保険請求事務、情報管理などで、医師を補佐する秘書的な役割を果たしております。

日本医師会認定医療秘書の資格の取得には、認定養成機関におけるカリキュラムを修了した後、日本医師会医療秘書認定試験に合格する必要があります。秘書検定、情報処理、保険請求事務などの3種類の秘書技能科目を取得することが条件となっています。取得できる資格としては、日本医師会医療秘書認定証と全国医師会医療秘書学院連絡協議会が行う医療保険請求事務実技試験の受験資格が与えられ、合格者には同協議会認定の合格証書が授与されます。

医師事務作業補助者を配置した場合には6か月の研修期間が義務づけられていますが、日本医師会認定医療秘書資格取得者は、そのうちの基礎知識習得のための32時間以上の研修が免除されます。

また、医師事務作業補助者の業務のうち、医療情報管理、診断書などの文書作成補助、診療記録への代行入力（電子カルテ）、医療の質の

向上に資する事務作業（診療に関するデータ整理など）、行政上の業務（救急医療情報システムへの入力など）が、日本医師会認定医療秘書の業務に含まれます。

基礎知識習得の研修内容として指定されている項目は、

- ア 医師法、医療法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、健康保険法等の関連法規の概要
- イ 個人情報の保護に関する事項
- ウ 当該医療機関で提供される一般的な医療内容及び各配置部門における医療内容や用語等
- エ 診療録等の記載・管理及び代筆、代行入力
- オ 電子カルテシステム（オーダーリングシステムを含む。）

医師事務作業補助者と医療秘書は何が違うのか？となると、大まかには、医療秘書は秘書業務＋医療事務の知識が必要で、医師事務作業補助者は医師が行う業務範囲の事務作業のみを代行します。

医療秘書として就職した後に、医師事務作業補助者としての研修を受ける方もおられます。また、就職先をみると、医療関係以外の職場に就職されている方もいらっしゃいます。最近、資格試験の難易性からも需要が増加しているとの報告もあります。

現在、中央社会保険医療協議会では、働き方改革のためにタスク・シェアリングやチーム医療などを推進する取組みについて、診療報酬での更なる評価・見直しが論点に挙がっています。現場が求めている負担軽減策と算定要件にミスマッチが生じているため、緩和や見直しを求める声が多く、日本医師会などの委員などから、見直しの要望がされました。今後の要件の緩和、診療報酬上の加算などを期待したいと思います。

最後に、日本医師会認定医療秘書の活用をお願いいたします。

退任挨拶



宮崎大学学長退任挨拶

宮崎市郡医師会病院 特別参与 いけ の うえ 池ノ上 つよむ 克

令和3年9月30日、6年間の任期を満了して宮崎大学長を退任いたしました。その間、宮崎県医師会の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。特に、河野雅行会長には学長選考会議に始まり退任式にいたるまで、公私にわたりご支援をいただきました。大学運営に係る重要な会議では、学外委員の立場で本県の医療と大学とに関する貴重な意見をいただきました。学生時代から続く同級生の有難さを身に染みて感じた6年間でした。

一方、独立行政法人化した国立大学の在り方を模索し続けた期間でもありました。予算の基盤となる政府からの運営費交付金が年々減額される中、外部資金の獲得が命題としてのしかかりました。

宮崎大学は地域に貢献する大学として旗幟を鮮明にし、教職員の協力を得て、さまざまな試みに挑みました。教育と研究が大学の基本であることに揺るぎはありませんが、その原点となるテーマや財源は地元にも多々あると考えて活動を続けました。地域と大学を結ぶ地域デザイン棟の建設をはじめ、地元企業や組織・団体からの寄附による講座の設置や共同研究の連携強化を行うことができました。そしてその成果は学術論文や学会発表として世界に向けて発信されました。

獲得研究費の総額が増え、発表論文数も増加して、大学機能評価機構からも高い評価を受ける結果となり、本学のスローガンである「世界を視野に地域から始めよう」の実行へと繋ぐことができました。

その具体例として、都農町のふるさと納税を活用した医学部の寄附講座を、都農町立病院内

に設置して、総合診療医学教育と地域医療の充実とを両立させるユニークな事業が始まりました。

また同時に地域資源創成学部を設置した寄附講座では、町興しの一環として特産食品と健康に関する研究の基礎づくりも進められており、これらが地域における大学教育のロールモデルとなっていくことを期待しています。

国際交流については、最後の2年間は新型コロナウイルス禍のため思うように運ぶことはできませんでしたが、一定の成果を上げることができたと思っています。

学長就任後の訪問は平成28年1月のミャンマー連邦共和国に始まりました。宮崎大学名誉博士で学生教育にあたっていた同国のパイチン先生のお世話で、多くの閣僚とお会いすることができました。特に宮崎大学とミャンマー教育省との間に連携協定を結び、ミャンマー全域の高等教育機関との間に自由な交流ができるようになったのは大きな成果でした。残念ながら現在は国内情勢の変化のため、以前のような交流はできてはいませんが、一日も早い回復を祈っています。

私の学長退任式はコロナ禍のために学内関係者のみで縮小して行われましたが、事務局の皆さんの企画で素晴らしい式典となり、感謝と感激を胸に大学を辞することができました。宮崎大学ではすでに鮫島浩新学長の下、活発な活動が始まっており今後の発展が楽しみです。

現在私は宮崎市郡医師会病院に特別参与として勤務しています。医師会の先生方との世界がますます広がっていくものと楽しみにしています。今後どうぞよろしくお願いいたします。

就任挨拶



宮崎大学学長就任挨拶

宮崎大学長 さめ 鯨 しま 島 ひろし 浩

宮崎県医師会会員の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。またこのたび、日州医事に挨拶の機会をいただき心からお礼申し上げます。

私は、2021年（令和3年）10月1日付で宮崎大学長を拝命いたしました。出身地は鹿児島で、1981年に鹿児島大学を卒業し、1995年に当時の宮崎医科大学産婦人科教室（池ノ上克教授）に講師として就任し、以後、四半世紀にわたり宮崎大学で教育、研究、診療に従事してまいりました。また最後の5年半は大学病院長として皆様には大変お世話になりました。この場を借りて、重ねてお礼申し上げます。

さて、2003年10月に宮崎医科大学と宮崎大学が統合し、新たな国立大学法人宮崎大学となって18年が経過しました。統合後、初代の住吉昭信学長、第2代の菅沼龍夫学長、第3代の池ノ上克学長が、宮崎の地に軸足を置いた活動で成長と発展を続けてきました。この力強い流れを滞らせることなく、将来構想をしっかりと見定めて、これからも発展させていきたいと意を新たにしております。

統合後、歴代学長が医学部出身であったこともあり、宮崎県医師会と宮崎大学とは相互に良好で密接な関係を築いてまいりました。特にここ2年間のコロナ禍では、より一層密接に連携をとる必要がありました。県医師会、宮崎大学、宮崎県を始めとする地方自治体、この基軸となるall-Miyazaki体勢を今後もしっかりと維持していきたいと思っております。この観点からの最

大の課題は、医師少数県からの脱却であり、将来の医療を担う若手医療従事者をいかに県内に留めるか、県内での専門医教育をいかに充実させるか、With Corona時代に向けて極めて重要な課題です。Web会議の充実、オンデマンド教育の進歩、ロボット手術の発展、AIや遠隔医療の進歩などもあり、地方にしながら医師の高度なキャリア形成が可能な時代が来ています。SDGsの観点から優良地域である宮崎を戦略的に広報しつつ、これらの基盤をしっかりと整備する必要があると感じています。

県医師会の皆様は、県民の健康を守り、常に住民に寄り添い、県民とともに病と闘っていく医療を提供しておられます。宮崎大学として最も関連の深い医学部は勿論、万全の態勢で協力していく所存です。総合大学として幅広い分野に才能豊かな専門家を有しておりますので、多くの分野で協力し、健康寿命日本一を目指した総合的医療を力強くサポートできると考えています。例えば、ビッグデータ解析での協力、医療支援ロボットの開発支援、医食連関に関する研究、アニマルセラピーの有効性、芸術と医療、遠隔医療の開発など、現場の声を活かす活動を通して宮崎県に貢献したいと考えています。

宮崎県医師会会員の皆様には、宮崎大学の実施する医学教育・研究活動、地域医療の充実、医療に関連する産学地域連携などを、今後ともご支援くださいますようお願いとご協力をお願い申し上げます。

就任挨拶



宮崎大学医学部医学部長就任挨拶

宮崎大学医学部長 ひし 菱 かわ 川 よし 善 たか 隆

令和3年10月1日付で宮崎大学医学部長に就任しました菱川善隆です。この場をお借りして宮崎県医師会会員の皆様にご挨拶申し上げます。

私は、昭和38年、岡山県生まれです。平成元年（1989年）に島根医科大学医学部を卒業、同大第二外科に入局し10年間外科医として勤務しました。研修医1年目に、第二外科 永末直文助教授（当時）の執刀のもと、日本初の生体肝移植が行われました。ちょうど私は麻酔研修のため松江に赴任中で、実際の現場の状況を肌で感じることはできなかったのですが、出雲の田舎の地から世界的な偉業がなされたことを今でも誇りに思っています。島根医大では、主に食道がんや乳がん、小児外科を中心に診療・研究に従事しましたが、1999年に大学院生時代の研究が縁で、長崎大学医学部第三解剖学講座に移り、いわゆる基礎研究の世界に足を踏み入れました。その後、2011年に宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野（旧第一解剖）教授に就任して現在に至っています。

医学部では、発生学と組織学講義・実習を担当しています。研究は、組織や細胞で特定の蛋白質や遺伝子発現を検出する免疫組織化学、in situハイブリダイゼーション法などの分子組織細胞化学方法論を用いて、肝切除モデル、炎症性腸疾患モデル、ヒトがん細胞や臨床症例におけるさまざまな細胞制御機構を中心に、超微形態科学（旧第二解剖）や生命分子科学、免疫学、外科、整形外科、眼科、歯科口腔外科などの先生方と共同研究をさせていただいています。

宮崎大学医学部長は、丸山眞杉先生、片岡寛章先生と2代続いて宮崎医科大学の卒業生の先

生が務められました。この間、宮崎大学医学部は、2018年には日本医学教育評価機構により国際医学教育連盟グローバルスタンダード施設として認定され、また、2022年入試からは学校推薦型選抜（地域枠）の定員を15名増の40名に拡充し、全国の高等学校卒業生を対象とした「地域枠C：日本のひなた枠」を創設し、将来の宮崎の地域医療を担う人材育成を積極的に進めるための入試改革が行われてきています。このように宮崎大学医学部の発展にご尽力されたお二人の大先達の後ではありますが、今後3年間、自分なりに宮崎大学医学部と宮崎県の地域医療の発展に貢献できるようベストを尽くしたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、宮崎大学医学部では3年後の令和6年（2024年）に、宮崎医科大学開学50周年を迎えます。現在、宮崎医科大学・医学部同窓会長の丸山眞杉先生と具体的な事業計画について検討を開始しています。医学部自体に全く財政的な余裕はなく、〇〇記念講堂のような「箱もの」を建設することは現実的に非常に困難ですが、清武キャンパスの講義室や福利厚生施設の増改築を記念事業の一部として進める方向で計画中です。多分、私の任期中最大の任務の一つが、この50周年記念事業になるかと思います。宮崎大学医学部のこれからの半世紀を見据えて、地域でそして世界に向けて新たな一歩を踏み出すにふさわしい記念事業として進めたいと考えています。

今後とも、会員の皆様のご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

就任挨拶



宮崎大学医学部附属病院病院長就任挨拶

宮崎大学医学部附属病院 病院長 帖 佐 悦 男
ちよう さ えつ お

日ごろから宮崎県医師会の先生方には、大変お世話になりお礼申し上げます。このたび、令和3年10月に宮崎大学医学部附属病院の病院長を拝命しました。宮崎県民のいのちと健康を守ると同時に、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。宮崎県唯一の大学病院・特定機能病院として、県民の医療の最後の砦となるべく、県民の皆様の信頼と期待に応えるよう職員一丸となり努力する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

宮崎大学医学部附属病院は、宮崎大学のスローガン「世界を視野に地域から始めよう」をもとに、大学病院の理念として、「診療、教育、研究を通して社会に貢献する」ことを掲げています。

新型コロナウイルス感染症の猛威による世界的なパンデミックによって、日常生活における社会生活や経済活動などは歴史的大打撃を受けましたが、コロナ禍でも、この「診療・教育・研究」の3つの柱を達成することが大切であると感じてきました。そして、患者さんにとって「安心」して受診できる環境整備を心掛けてまいりました。加えてこれまでどおり日常診療・教育・研究ならびにコロナ対策について産官学をあげて遂行し、県民の命と健康を守るとともに地域活性化、医療における地域貢献、地域で活躍する医療人の育成などが、これまで以上に

必要となっています。「with コロナ/after コロナ」時代においても、大学病院の役割として時代のニーズに合った医療、地域貢献や社会貢献を実践し、県民の皆様の健康を支え、命を守る活動を病院の理念・5つの基本方針に則り推進していく所存です。

大学病院は、宮崎県の医学と医療の中核として、地域の基幹病院、診療所などから高度な管理を要する患者さんの受け入れ、地域診療の支援や大規模災害時の対応を、医師会・行政・医療福祉関連団体などと連携し、努めてまいりました。しかし、スムーズな実臨床には良質な若手医療人の育成も必要不可欠です。引き続き地域の診療所や病院で活躍する若手医療人に、温かい理解と、愛情のこもった叱咤激励をお願いいたします。

以上のことを遂行するためにも医師会との連携は必要不可欠ですので、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

わたしたちは、大学病院の理念と基本方針の実践に努め、県民の皆様の期待に応え、信頼に沿うべく努力を続けていく所存ですので、宮崎大学医学部附属病院を今後ともよろしくお願い申し上げます。

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部機能制御学講座循環動態生理学分野 教授
宮崎大学医学部附属病院ハートセンター 副センター長

わた なべ
渡 邊

のぞみ
望

令和3年4月1日付で、懐かしい母校に戻ってまいりました。新たな環境ではありますが、同級生や恩師、学生時代の先輩や後輩たちのいるこの宮崎大学はとても温かく、遠い昔に自分が過ごした6年間の記憶と、今自分がいる場所が同じ場所であることを、ふとした時に思い出しながら日々過ごしています。

私は皮膚科医である父の勤務地であった別府市の九州大学温泉研究所で生まれました。その後福岡市でしばらく過ごした後、急逝した祖父の皮膚科医院を継ぐために父が宮崎に開業するタイミングで宮崎市に転居、宮崎市立小戸小学校、宮崎大学附属中学校、県立宮崎大宮高校と進学し、平成2年のユニーク入試一期生として宮崎医科大学に入学しました。平成8年に卒業した後、1年間の内科初期研修で当時の第三内科、第一内科、第二内科の順に4か月ずつお世話になりました。卒後2年目以降は県立宮崎病院で内科研修医・循環器専門研修医としてトレーニングを受けたのち、心臓超音波の研鑽のため倉敷市の川崎医科大学へ行きました。当時心臓超音波の分野で世界的リーダーであった吉田清先生の下で約10年間、循環器内科診断医としての経験を積みながら、超音波医学の臨床・基礎研究を手掛け、国内外でさまざまな活動に携わりました。出産をきっかけに宮崎に戻り、県立宮崎病院で4年半、宮崎市郡医師会病院で7年過ごし、宮崎の医療現場で働きながら臨床研究を続け、国際的フィールドでの活動も続けてきました。

この春、宮崎大学医学部教授として今後の大学の発展、宮崎の医療の発展を考える立場となり、宮崎に残る卒業生が増えてほしい、という地元医学部としての使命を実感しています。と同時に、自分の卒後を振り返り、卒後早いうちに宮崎を離れたからこそ得られた経験やチャンスがあったことも思います。宮崎に戻るとき、アカデミックな分野の仲間からは、地方に戻って大丈夫なのか、と心配されたものでした。しかし今のインターネット社会では、宮崎にいよ

うが東京にしようが、世界との距離に差はなく、宮崎に戻ってからでも、国内学会・国際学会の活動や、国際誌編集の仕事を続けることができます。

今、医学部の学生と身近に触れ合いながら、卒業生である私がこの大学に入学して30年間懸命に歩んできた道が、これから先医師として羽ばたいていく彼らの医師人生に何かしらつながっていければと願っています。宮崎大学医学部が、彼らのいたい場所、帰ってきたい場所であるように、基礎医学講座・臨床講座の領域を超えたさまざまな分野の先生方とともに、学びを続け、いろいろなことにチャレンジしたいと思っています。

循環動態生理学分野は、旧第二生理学の流れを汲む講座です。教室の持つ分子生物学的研究の力と、臨床的疑問とをつなぎ、大学ならではのtranslational studyが進められる魅力的な環境をいただき、他部門の先生方とさまざまな視点でのコラボレーションを始めています。

自分の専門領域である心エコー図に関しては、地域の先生方や技師さんたちと宮崎県レベルでのネットワークを広げ、地域としての力を高めるための活動を始めています。また、大学と地域医療を身近につなぐ試みとして、大宮高校の同級生である野崎勝宏先生と協力し、のぞきクリニックで毎週火曜日に実地医家の先生方が気軽に相談いただける弁膜症専門外来を開設しました。ちょっとした雑音や、息切れなどの症状などでも、心疾患のスクリーニングがご必要な患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。

県医師会の先生方には、研究と教育、地域医療とさまざまな面で大変お世話になります。Uターンしてきた宮崎で、元気いっぱい頑張りたいと思います。これからの宮崎大学医学部での働きに、先生方のお力添えいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

教室ホームページ

<<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/cardio-phys/>>

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部内科学講座

呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授

みやざき たいが
宮崎 泰可

令和3年5月1日付で宮崎大学医学部内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野の教授を拝命いたしました宮崎泰可（みやざきたいが）と申します。宮崎県医師会ならびに関連の皆様方にこの場をお借りして、ご挨拶申し上げます。

私は長崎市で生まれ、長崎西高を卒業後、長崎大学医学部に進学しました。医学部時代はバスケットボール部に所属して、優しい先輩と楽しい同級生や後輩たちに恵まれ、充実した日々を過ごしました。平成10年、河野茂教授（現長崎大学学長）が主宰されていた第二内科に入局し、大学病院や長崎原爆病院、嬉野医療センターで研修後、呼吸器内科感染症グループに入りました。平成15年から3年間、米国NIH/NIAIDのclinical mycology sectionに留学させていただき、主に感染症の基礎研究を学んできました。帰国後は大学病院や諫早総合病院、佐世保総合医療センターで臨床経験を積み、平成26年から大学に戻りました。

今年度、宮崎大学の内科学講座は大幅に再編され、大講座制となりました。私が担当している教室「呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野」の呼吸器と脳神経は、昨年度まで中里雅光教授が主宰されていた第3内科で、膠原病と感染症は岡山昭彦教授が主宰されていた膠原病感染症内科です。先輩方が築いてこられた伝

統を継承し、更に新たな教室として発展させていく重責を痛感しております。

私たちは、幅広い診療科が含まれている特長を活かし、垣根のない交流によって診療・研究・教育における協力体制を構築しています。高度な専門医療の提供と先進的研究の促進、総合力の高い内科医の育成を目標に、大学附属病院としての役割を果たすべく鋭意努力する所存です。特に、宮崎県の医療を支えていくためには、地域に根ざした人材育成と病診連携の更なる発展によって、医師不足や専門医の偏在を解消し医療の均てん化を目指す必要があると考えております。

宮崎に来て半年が経ちました。温厚な人たちに囲まれ気候にも恵まれ、食べ物は美味しいし、毎日を楽しく過ごしております。これからは学生さんや若い先生たちを育てながら、宮崎県の医療の発展に貢献したいと思います。宮崎県医師会の皆様にはこれからも大変お世話になると存じます。ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。当教室のホームページもできましたので、お手すきの際にでもご覧いただければ幸いです。

(<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/resprheuminfecneur9640/>)

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部外科学講座 心臓血管外科学分野 教授 ^{ふる}古 ^{かわ}川 ^{こう}貢 ^じ之

2021年6月1日付けで宮崎大学外科学講座心臓血管外科分野教授を拝命しました古川貢之です。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

私は1970年9月生まれで、宮崎県椎葉村出身であります。1989年に山口大学に進学しました。大学卒業前の病院見学で故古賀保範教授に丁寧に当時の宮崎医科大学第二外科を紹介していただき、柴田紘一郎助教授のケニアでのご活躍を知り入局を決心し、1995年第二外科に入局いたしました。外科各分野の研修後、1999年に県立延岡病院で心臓血管外科医としてのキャリアを開始させました。当時の部長であった桑原正知先生に心臓血管外科のいろはを学び、先生の広い視野と諦めない心の持ち様は私の心臓血管外科医としての礎となっています。そのような影響もあり、2006年にバチスタ手術で有名であった神奈川県葉山ハートセンターへの国内留学の機会をいただき多くのことを学ばせていただきました。2008年に帰郷し、2016年より宮崎大学病院に勤務し中村都英教授の下で臨床と研究に取り組んでまいりました。臨床では冠動脈バイパス術、左室形成術、弁膜症手術、胸部・腹部大動脈人工血管置換術の執刀を数多く経験し、研究におきましては重症心不全に対する自己心温存療法の臨床研究をメインテーマに、発表の機会をいただいてまいりました。

今後は七島篤志教授と協力して外科学講座の運営を担当させていただきます。当外科学講座は2015年から心臓血管外科、呼吸器・乳腺外科、肝胆膵外科、消化器・内分泌・小児外科、形成外科よりなる大講座制に移行しています。

それまでの専門領域の重複を排除し専門性を高め、患者さんに分かりやすく、安全で質の高い外科診療を提供しております。大講座制に移行しての最大メリットは、各分野の横断的な協力により一体として問題にあたれることであります。各分野同士の合同手術が日常的に行われ、治療の質の向上に貢献できております。今後、このような協力体制を深化させ社会に還元できるよう努めてまいります。

担当領域である心臓血管外科分野におきましては、県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院を含めた連携施設を挙げて心臓血管外科診療の質向上に全力で尽くします。また急性大動脈解離症など致死的な心臓大血管緊急疾患に対しまして連携施設を挙げて対応し、県内で治療が完結できるように努めてまいります。今後時間外労働の規制の取組みなどの医師の働き方改革が推進され、緊急症例を扱う頻度の高い心臓血管外科はマンパワー不足に陥る可能性があります。急患への対応が不十分になることも危惧されます。今後も県民のニーズに応えるためにはいかに次世代を担う若者を確保できるかがとても重要です。そのために、若手医師に活躍の場を提供し、明るく活発な教室を作り、外科を選択してもらうよう努めてまいります。特に今後は女性医師に外科を選択してもらえる環境を整えることが大切であり、ワークライフバランスがとれる体制を整えていきたいと思っております。

これまで当講座をご支援、ご協力いただいております宮崎県医師会の先生方におかれましては、今後ともよろしくご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部教授 あら 荒 かわ 川 ひで 英 き 樹

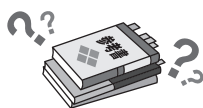
このたび、令和3年9月1日付けで宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部教授を拝命いたしました荒川英樹と申します。宮崎県医師会の皆様にこの場をお借りいたしましてご挨拶申し上げます。

私は宮崎県えびの市に生まれ宮崎市に育ちました。大塚あけぼの幼稚園、江南小学校、大塚中学校、そして宮崎西高校が母校です。その後、産業医科大学に進学し、平成10年卒業後は高齢者や障がい者の方々の地域生活を支え、職域の方々の健康に寄与することを志して産業医科大学リハビリテーション医学講座に入局しました。産業医学義務年限課程に従って産業医科大学病院、全国の労災病院でリハビリテーション医学・医療の基礎を学ぶとともに嘱託産業医や健診業務にも従事しました。覚えておられる先生方も多いと思いますが、この時期は脳血管疾患後遺症などに対する長期間のリハビリテーションが医療保険で実施されており、社会経済的な医療問題として介護保険導入が行われた歴史的なリハビリテーション医療の変換点でもありました。医療と福祉、病院と地域生活の狭間で「リハビリテーション科医」の存在意義を考えた時期でした。その後、同門の先輩であった田島文博先生（現日本リハビリテーション医学会副理事長）が和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座の教授に就任されたこととともない和歌山に籍を移し、新たな環境で研鑽を積むとともに、中枢性循環調整に関する基礎研究を学び、米国ニュージャージー医科歯科大学神経外科への留学の機会もいただきました。帰国後は講座の准教授であった中村健先生が横浜

市立大学医学部リハビリテーション科学講座の初代主任教授に就任されたこととともない横浜市立大学に赴任し、医局長として新たな講座の運営も経験しました。しかし、宮崎の両親が病気を患ったことから、ふるさとでリハビリテーション科医として現場で働きたい、という想いが沸き上がりました。地域医療支援機構事務局などにもお問い合わせをさせていただきましたが、「リハビリテーション科医」があまり認知いただけなかったようで少し残念でした。その後、宮崎大学医学部整形外科、帖佐悦男教授とのご縁から整形外科に入局、無事に帰郷することができ、令和元年から宮崎市立田野病院、次いで宮崎大学医学部附属病院でリハビリテーション診療に従事し、現在に至っております。

リハビリテーション医療は、単に疾病の治療だけではなく、機能回復や社会復帰を目指す幅広い領域を含んでおり、最近では「活動を育む」ための医療と定義されるようになりました。新生児から高齢者まですべてのヒトを対象として、急性期から回復期、生活期までのすべての時期に病院、地域を問わず関与するシームレスな医療であり、福祉的な見識も必要とする領域です。宮崎県においてこのような専門的なリハビリテーション医療を提供することは本学の重要な使命であり、それを実践できる人格と能力を備えた医療人の育成にも、浅学菲才の身ではございますが誠心誠意、取り組んでまいります。

宮崎県医師会の先生方におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



あなたできますか？

—令和2年度 医師国家試験問題より—

(解答は65ページ)

1. 4か月の男児。鼻汁と咳嗽を主訴に両親に連れられて来院した。昨日から鼻汁、咳嗽および喘鳴が出現した。在胎36週1日、2,466gで出生した。低出生体重児のためNICUに3週間入院した。3歳の兄が1週前から鼻汁を認めていた。母乳栄養で哺乳は普段と変わらない。身長64.3cm、体重7,220g。体温36.8℃。心拍数120/分。呼吸数50/分。SpO₂98% (room air)。心音に異常を認めない。呼吸音は喘鳴を認めるが陥没呼吸は認めない。腹部は軽度膨隆を認める。毛細血管再充満時間の延長はない。鼻腔RSウイルス迅速検査は陽性だった。
対応として正しいのはどれか。
a 経過観察
b 抗菌薬投与
c 抗ウイルス薬投与
d ガンマグロブリン投与
e ヒト化モノクローナル抗体投与
2. 医師法に規定されないのはどれか。
a 応召義務
b 守秘義務
c 臨床研修
d 処方箋の交付
e 診療録の記載
3. S状結腸切除後の腹腔内ドレナージを目的としたドレーン先端の留置部位として適切なのはどれか。
a Douglas窩
b Morrison窩
c Winslow孔
d 左横隔膜下
e 右横隔膜下
4. 強迫性障害の患者にみられる強迫行為について正しいのはどれか。
a 行為中の記憶がない。
b 行為は夕方増悪する。
c 行為によって不安は緩和される。
d 患者は行為を合理的であると考えている。
e 「行為をしなさい」という命令が外から頭の中に吹き込まれる。
5. 生命の危険はないが、虐待が疑われる児童が来院した際に、まず通報すべき機関はどれか。
a 警察署
b 小学校
c 保健所
d 児童相談所
e 市町村保健センター
6. 82歳の男性。発熱、嘔吐および水様下痢を主訴に来院した。3日前から38℃前後の発熱、嘔吐および1日8回の水様下痢が持続しているという。経口水分摂取が困難であるため入院した。入院時検査で便中ノロウイルス抗原が陽性であった。診察にあたり、①アルコール手指消毒を行ったのち、②ビニールガウンを着用し、③プラスチック手袋を着用した。その後腹部の聴診と触診を行った。診察後はプラスチック手袋とビニールガウンを外し、④聴診器を白衣のポケットにしまい、⑤石けんと流水での手洗いを行った。
下線部のうち感染対策として誤っているのはどれか。
a ①
b ②
c ③
d ④
e ⑤
7. お薬手帳の役割として正しいのはどれか。
2つ選べ。
a 薬剤医療費の適正化
b ジェネリック薬品の普及促進
c 患者による処方の自己管理の促進
d 重複処方、相互作用による健康被害の防止
e 薬局薬剤師の判断による処方内容の修正・改善
8. 幼児期に発症し思春期までに多くが自然寛解するのはどれか。
a 片頭痛
b 過換気症候群
c 起立性調節障害
d 神経性食思不振症
e アセトン血性嘔吐症
9. 中枢神経原発悪性リンパ腫について正しいのはどれか。**2つ選べ。**
a 若年女性に好発する。
b 初発症状にぶどう膜炎がある。
c 大部分はB細胞リンパ腫である。
d 診断時に約半数で全身転移を認める。
e 副腎皮質ステロイドは根治的な治療薬である。
10. 栄養素とその欠乏によって起こる病態との組合せで正しいのはどれか。
a マグネシウム —— 味覚障害
b ビタミンA —— ペラグラ
c ビタミンC —— 出血傾向
d カルシウム —— 貧血
e 亜鉛 —— 夜盲

エコー・リレー

(556回)

(南から北へ北から南へ)

新型コロナウイルス

宮崎市 平部整形外科医院 ひら べ ひさ よし
平 部 久 彬

SARS-CoV-2は波状攻撃をしてくる。ワクチン接種がよいようですが、内服薬が出れば更によりいのでは。私は実験ばかりしていますが、一酸化窒素も効果があるという論文もあります。

自分なりにいろいろ運動を考案しました。血圧をメルクマールにしています。内因性一酸化窒素を産生させSARS-CoV-2に少しでも効果をしめせないかとドン・キホーテみたいなことを考えています。小児でも数少ないですが実験し運動効果は認められるようでした。この前、考案した運動をされて目が1回だけ良く見えるようになったと患者さんが言われたので、院長が美男子に見えましたかとお聞きしましたが、笑っておられるだけでした。一酸化窒素はSARS-CoV-2の複製や細胞内侵入を阻害するという論文もございます。いろいろなことの効果があり、医療従事者の負担がなくなり、経済活動が以前のようになればよいと思っています。まったく小さな診療所、この前存在を全然知らなかったという方も来られました。2代目ですかと言われる方もおられます。青島のパークゴルフに久しぶりに行きましたが、運動はよいとつくづく思いました。SARS-CoV-2には紫外線も効果あるようです。一酸化窒素には血圧、緑内障、免疫系などの多くの論文があるようです。脊柱管狭窄症の方で軽快された方、花粉症で???という方もおられます。tPAも産生されると思います。少しでもお役に立てばよいのですが。

[次回は、宮崎市の川畑 紀彦先生をお願いします]

開業とその後の日常について

宮崎市 まつおか小児科 いけ だ とし お
いけだ小児神経内科 池 田 俊 郎

このたび、宮崎大学医学部小児科を退職し、義父のまつおか小児科医院を継承開業いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般小児科として発熱や予防接種などももちろん行

っておりますが、そのほか小児の神経疾患や障がいのある患者さんの診療につきましても、ご相談いただけましたら幸いです。

なお継承にあたって、義父の松岡の体調を気づかうお声をいただきました。ありがとうございます。健康にしております(テニスも行っております)ので、どうぞご安心いただけましたら幸いです。週に2回ほど、診療にも携わっております。とはいえ、開業したばかりで、いろいろ戸惑うことも多い日々です。

先日は、とある一家に予防接種を行ったとき、接種した母親に思わず「お利口さんでした!」と声をかけてしまい、ひとり赤面しておりました。大学では母親への予防接種はほぼなかったので…気をつけます。

当院は川に近いためか、外の駐車場の溝にカニがおります。先日は診療に来た児が「外にカニがいたよ!」とうれしそうに教えてくれました。季節の移り変わりを話題にしながら、運動会の熱中症など行事に関連した相談事を受ける、その時々流行性疾患を話題にする、台風がくれば気圧の変化による喘息や片頭痛を心配するなどなど、といった日々を送っています。大学病院での専門診療にもやりがいを感じておりましたが、より患者さんたちの立ち位置に近い一般診療にも、楽しさを感じております。

[次回は、宮崎市の楠元 恭子先生をお願いします]

メディアの目



宮崎の未来 肥満の影

毎日新聞 宮崎支局長

うめ やま たかし
梅 山 崇

昨春、大阪から宮崎支局に着任し、まずは県内を見て歩いた。何か居心地がよい。「太っている人が多いからだ」と気付いた。173cm94kgでBMI（体重÷身長÷身長 ※身長はメートル）が31.4とメタボでも、まちの風景に溶け込めるのはいいが、私自身、痛風や糖尿病、脳梗塞など、肥満と縁のある病気を経験している。県民の健康は大丈夫なのだろうかと心配になった。

厚生労働省の国民健康・栄養調査（2016年）によると、宮崎県民（20～69歳）のBMI平均は男性が24.8で全国ワースト3位、女性が23.8でワースト2位。同省の別の資料によると、制限なく日常生活が送れる「健康寿命」を平均寿命から引いた不健康期間も、宮崎県は男性が8.16年、女性が11.99年もある。

どうしてなのか。塩分摂取の多さにともなう炭水化物摂取の多さや、マイカー出勤で運動不足になる人の多さなどが関係するようだ。1日の歩数（20～64歳）も男性は7,022歩で全国ワースト11位、女性は5,939歩で同4位という。

肥満は大人だけの問題ではない。昨年度の文部科学省の学校保健統計調査でも、小学生～高校生のうち、小学2年男子を除く男女全世代で宮崎県の肥満傾向児は全国平均より多い。さま

ざまな原因はあろうが、学校統合が進み、スクールバス通学が増えたことも無視できないとの声もある。少子化が思わぬ影響を与えているわけだ。新型コロナ問題で家にこもりがちとなり、外へ出歩かなくなる影響は今年度あたり更に大きく出るとみられる。

「野菜を1日あと100g食べる」「1日にプラス10分間の運動習慣を」などの目標を立てている県の健康増進課に対策を尋ねた。「野菜あと100g」が実現できる県内飲食・弁当・総菜店145店を「ベジ活応援店」として登録したり、10月には九州・山口各県対抗で1日8,000歩（約80分）以上歩いた人を表彰するウォーキングイベントも展開したという。

民間に目を向けても、南九州大（宮崎市）管理栄養学科の長友多恵子准教授のように、低糖質スイーツ普及を提唱する活動もある。旭建設（日向市）は社員食堂に栄養バランスに関する小冊子を置き、社員を啓発しているそうだ。

こうした、主に大人向けの対策はもちろん必要だ。しかし、肥満の子どもは肥満の大人になりやすい。まずは子どもたちの問題にどう向き合うかが、将来の宮崎県を左右する。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第2回 業務上の注意とパワハラ



Q. 当院に勤務するスタッフが業務中にミスをしたために注意をしたところ、そのスタッフが「院長からパワハラを受けた」と他のスタッフに相談していることがわかりました。業務上の注意とパワハラの区別について教えてください。

パワーハラスメント（略称パワハラ）とは、同じ職場で働く者に対して、職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、苦痛を与える行為を言います。そのため、指導内容や方法が、業務の適正な範囲を超えた場合にパワハラとなります。

そして、当該指導が適正な範囲か否かは、その犯したミスの内容によっても変わります。例えば、そのミスが医療事故を起こしかねない危険なものである場合、厳重に注意をすることも許容されやすい反面、軽微なミスに対して厳しく注意をしたり、他のスタッフのいる前で注意をすることは適正な範囲を超え、パワハラと判断されるリスクが高まります。

特に、「バカ」「頭が悪い」などのスタッフの人格を攻撃することや、「怒鳴る」「物に当たる」などの激しい罵声、脅迫のような言葉を使うことは、そもそも業務上の必要性がないため、厳に慎むべきでしょう。

そのため、スタッフのミスに対する指導は、その犯したミスの内容や性質に応じて、その影響を配慮したうえで行うことが大切です。感情的な叱責は控えた方がよいでしょう。

また、適切な指導であるにも関わらずスタッフがパワハラだと主張する場合に備え、なぜそのような注意を行ったのかを説明できるよう記録を残すことが大切です（メモ書き程度でも大丈夫です）。また、厳しく注意をする場合には、念のために第三者も同席させた部屋で行うなどの対策も重要です。

（回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂）



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

叙勲・祝賀

教育研究功勞により瑞宝中綬章

たか さき ま ゆみ
高 崎 眞 弓 先生（宮大医）

令和3年11月3日，教育研究功勞により瑞宝中綬章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



高崎 先生

保健衛生功勞により旭日双光章

たつ もと すけ やす
立 元 祐 保 先生（宮 崎）

令和3年11月3日，保健衛生功勞により旭日双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



立元 先生

褒章・祝賀

保健衛生功績により藍綬褒章

にの みや よし まさ
二 宮 嘉 正 先生（日 向）

令和3年11月3日，保健衛生功績により藍綬褒章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



二宮 先生



表彰・祝賀

国民健康保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰

か	い	まさ	ひろ	
甲	斐	眞	弘	先生（宮 崎）
なか	ざき	しゅう	じ	
中	崎	秀	二	先生（宮 崎）
ひめ	じ	だい	すけ	
姫	路	大	輔	先生（宮 崎）

令和3年8月30日、国民健康保険事業に関する功勞により国民健康保険中央会表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



甲斐 先生



中崎 先生



姫路 先生

精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰

なか	むら	きわめ	
中	村	究	先生（宮 崎）
ほり	てつ	や	
堀	徹	也	先生（日 向）

令和3年10月9日、精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



中村 先生



堀 先生

表彰・祝賀

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

うえ き よし ひろ
植 木 義 裕 先生（宮 崎）

令和3年10月14日、国民健康保険に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



植木 先生

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

こ ごう ひろし
古 郷 博 先生（宮 崎）

令和3年10月15日、精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



古郷 先生

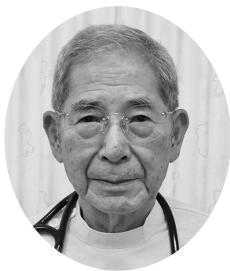


表彰・祝賀

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

お の たけ み
小 野 武 己 先生（宮 崎）
いな はら めい し
稲 原 明 肆 先生（日 向）

令和3年10月28日、学校保健功勞により文部科学大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



小野 先生



稲原 先生

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

もり やま しげ と
森 山 重 人 先生（宮 崎）

令和3年10月29日、社会保険診療報酬支払基金に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



森山 先生



医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

宮崎県感染症発生動向 ～10月～

令和3年10月4日～令和3年10月31日（第40週～第43週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核10例（男性9例・女性1例）：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳で、主な症状として血便がみられた。原因菌のO血清型はO111（VT1VT2）であった。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で、ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、肝機能障害がみられた。

○つつが虫病2例：都城、小林保健所管内から報告があった。年齢はいずれも70歳代で、主な症状として発熱、刺し口、発疹がみられた。

○日本紅斑熱6例：宮崎市（5例）、日南（1例）保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代が各2例、60歳代及び90歳代が各1例で、4例でダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱、頭痛、発疹、DIC、肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で、病型は肺炎型であった。主な症状として発熱、肺炎がみられた。

5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で、主な症状として尿路感染症、菌血症がみられた。

○梅毒3例（男性2例、女性1例）：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代が1例、40歳代が2例であった。病型は無症状病原体保有者が2例、早期顕症梅毒Ⅰ期が1例であった。主な症状として硬性下疳がみられた。

○破傷風2例：宮崎市、都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と90歳代で、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、強直性痙攣がみられた。

○百日咳1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代の女性で、主な症状として持続する咳、夜間の咳き込みがみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

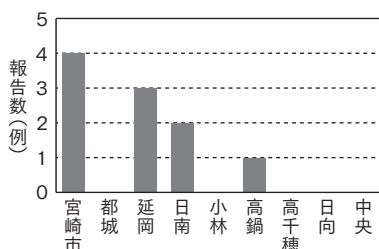


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
その他の結核 (結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	5

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	1
40歳代	1
60歳代	1
70歳代	4
80歳代	1
90歳代	2

■新型インフルエンザ等感染症

○新型コロナウイルス感染症17例：保健所、年齢別報告数、主な症状は【表3】のとおりであった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,308人（定点あたり65.5）で、前月の94%、例年の107%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

手足口病の報告数は1,120人（31.1）で前月の約1.4倍、例年の約9.4倍であった。宮崎市（63.4）、中央（56.0）、日南（24.7）保健所からの報告が多く、6ヵ月～2歳が全体の約9割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は196人（5.4）で前

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	2
	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	2
ウイルス	ライノウイルス	1
	エコーウイルス 6 型	4

月の約0.5倍、例年の約1.2倍であった。宮崎市（9.1），日南（8.0），中央（5.0）保健所からの報告が多く、6ヵ月～2歳が全体の約8割を占めた。

表3 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数（例）

疾患名	居住地 保健所	報告数	年 齢 群							症 状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	70歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	1例	1							発熱、咳、頭痛、 全身倦怠感、 嗅覚・味覚障害等
	都 城	1例			1					
	延 岡	9例		2	3	1	2	1		
	日 向	6例	3			2			1	

■月報告対象疾患の発生動向（2021年10月）

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比97%とほぼ横ばいであった。また、昨年10月（4.2）の約0.6倍であった。

《疾患別》

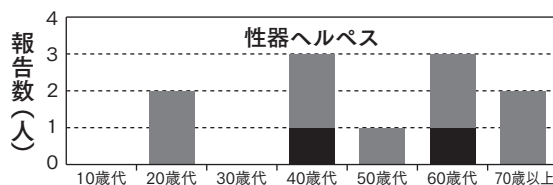
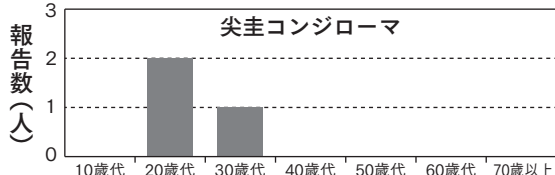
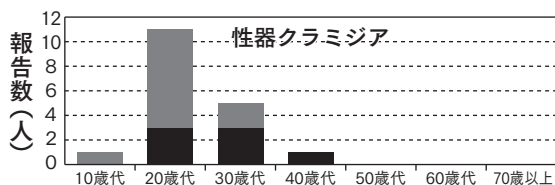
- 性器クラミジア感染症：報告数18人（1.4）で、前月の約0.9倍、昨年10月の約0.6倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性7人・女性11人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告11人（0.85）で、前月の約1.6倍、昨年10月の約1.4倍であった。（男性2人・女性9人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月の3.0倍、昨年10月と同率であった。（女性3人）
- 淋菌感染症：報告数2人（0.15）で前月の約0.3倍、昨年10月の約0.2倍であった。（男性1人・女性1人）

前月との比較

	2021年10月		2021年9月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	2	0.0	
RSウイルス感染症	96	2.7	84	2.3	
咽頭結膜熱	31	0.9	55	1.5	
※溶レン菌咽頭炎	120	3.3	109	3.0	
感染性胃腸炎	600	16.7	787	21.9	
水 痘	19	0.5	26	0.7	
手足口病	1,120	31.1	777	21.6	★
伝染性紅斑	4	0.1	4	0.1	
突発性発しん	108	3.0	107	3.0	
ヘルパンギーナ	196	5.4	427	11.9	★
流行性耳下腺炎	4	0.1	14	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	10	1.7	19	3.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人（2.4）で、前月比121%と増加した。また、昨年10月（1.5）の155%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人（2.3）で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.5倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）であった。（前月及び昨年10月報告なし）
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各都市医師会だより

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

2021年も終わろうとしています。今年は経験したことのないことが連続したのではないのでしょうか。コロナワクチン接種が順調に進み、県民の皆さんのご努力でコロナ発生も少なくなっています。第5波という感染時期では今まで経験したことのない事態になり、コロナ患者の発生を抑えるべく、多くの方々がご尽力されました。都城市郡医師会病院においては、地域だけでなく地域外の重症患者の治療にもあたりました。担当スタッフのご努力にただただ頭の下がる思いです。スタッフおよび関係者は緊張と長い拘束時間など非日常的な行動に疲弊なさっておられることでしょう。このようなことは検査や治療にあたられたすべての医療関係者にも言えることと思います。

全国的に見ても、高齢者のワクチン接種がほぼ終了しました。抗体価の減少のためなのか一部の施設では全員が2回接種完了後のクラスターも見受けられましたが、ワクチン接種の発生患者を減らし重症化を防ぐ効果は十分に証明されたと思います。ただ、患者発生を防ぐまでには効果は認められていないと思われます。年末には経口治療薬の話も出ています。患者発生がなく穏やかな状態が長く継続するように日々注意しつつ、治療薬が1日も早く認可されることを願いながら3回目のワクチン接種を積極的に進めるしか方法はないと思われます。

今後も新しい感染症が発生する可能性は十分にあります。今回のことを教訓とし、苦悩する日々が短くなるように対応を考えることが今後の課題と思われます。

(福島 義隆)

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市夜間急病センター小児科の医師確保のために「県央地区における小児救急医療の確保に関する検討会」が開催された。宮崎市は当直医を確保するための取組みとして、平成30年から宮崎大学医学部小児科寄附講座を設置し、宮崎大学小児科学教室と協力して宮崎市夜間急病センター小児科への医師派遣を維持してきている。寄附講座の設置は宮崎大学小児科学講座の充実につながり、宮崎市夜間急病センター小児科の深夜帯当直が確保されただけでなく、延いては大学から派遣される宮崎県北部、南西部地域の小児救急医療の維持にも貢献した結果となっている。

(高村 一志)

延 岡 市 医 師 会

来るたびに大きくなっていく新型コロナの波…第5波に備えた延岡西臼杵医療圏の病床は64床、宿泊施設は60室です。「感染症の基本は隔離である」。感染症内科の講義で開口一番、教授が言われたのを思い出します。特筆すべきは、感染症コーディネータの存在です。佐藤圭創先生が発生患者すべての情報を一括管理し、病状に応じて振り分ける。改善や悪化があれば転院、退院、転所、チェックアウトも決定し、投薬や検査のアドバイスもいただけて、現場でも大変心強く助かりました。私どもの病院も合計56名の入院患者の治療にあたりました。自宅待機は家族ごと感染したケースをのぞけば、ほぼなく「感染症の基本は隔離」を実践できたと思います。なにをするにも隅々まで行き届く「ちょうどいい町」延岡。第6波は更に大きいと

か…これまでの経験をもとに、システムを更に強力なものとし備えなければと思っています。

(赤須 郁太郎)

日向市東臼杵郡医師会

当医師会では会員や会員ご家族相互の親睦を深めるために例年11月末に医師会主催の懇親会を開催してきましたが、インフルエンザの流行も心配されるこの時期、まだまだ油断禁物との判断から2年連続で中止を決断しました。「新しい生活様式」が国民生活に定着し新型コロナウイルス感染症も減少傾向にあることは大変嬉しく思っています。今後は談笑しながら一献酌み交わす昔ながらのコミュニケーションの場が可能な限り早く市民の日常生活の中に戻ることを望むばかりです。

(千代反田 晋)

児 湯 医 師 会

児湯医師会は、児湯准看護学校と協同で児湯管内の病医院対抗のミニバレーボール大会を開催しています。しかし、コロナ感染症の影響で、昨年と今年は中止になりました。この大会は、年1回の開催で、各病医院のパラメディカルスタッフが参加し各施設対抗の試合を行い連携、交流の強化を目的としています。早期にコロナ感染症が収束し、ミニバレーボール大会が再開され各医療機関の協力関係が深まり、児湯郡内の医療の底上げに少しでもつながればと願っています。

(坂田 師隣)

西都市西児湯医師会

ワクチン接種が順調に行われ、新型コロナウイルス感染者ゼロが続いており、喜ばしい状態ですが、西都児湯医療センター理事長解任について、西都市長との話し合いもできないため、当医師会も強い態度で阻止すべく、今後も対応していく

予定です。市民が安心して医療を受けられるよう、行政・西都児湯医療センター・当医師会が一体となり、協力しあえる環境を作っていくと思っています。令和4年1月17日在宅スキルアップ研修会(Web研修)を社会医療法人如月会 若草病院 白土俊明院長先生を講師にお迎えして、開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

(上野 尚美)

南 那 珂 医 師 会

コロナウイルスワクチン接種も2回目を終え、3回目のワクチン接種などの協議も進行がされている中、ようやく介護認定審査会や、公的会議などにもオンライン会議を導入されるようになりました。串間市においても、市における主催の会議がZoom、マイクロソフトなどのソフトによりオンライン会議となりました。資源の節約、また、感染防止などに必須のシステムである中、サイバー攻撃、個人情報流出などのすべての問題を解決したシステムは、もはや神にしか作れないのでしょうか。

(加藤 久仁彦)

西 諸 医 師 会

先日、京大防災研の西村准教授が西日本各地のM6.8以上の内陸地震の30年以内の発生確率を発表されました。GPSで地下のひずみを観測すると、九州南部は31~42%と発生確率が高く、西日本では最高です。小林市立病院は宮崎県の災害拠点病院に指定され、特に南海トラフ巨大地震では重要な後方支援病院として期待されていますが、この発表を考慮すると西諸地区自体が内陸地震の被災地となる可能性もあります。現在コロナ禍ですが、地震に対する備えの重要性もあらためて再認識させられました。

(井尻 裕司)

宮崎大学医学部だより

感覚運動医学部講座 —顎顔面口腔外科学分野—



やました よしひろ
山下 善弘 教授

当教室は宮崎県で唯一の大学病院歯科口腔外科・矯正歯科であり、県内に歯学部・歯科大学がないなかで、地域の歯科医院と協力体制をとりながら、高度歯科口腔外科

疾患の治療に関して中心的な役割を果たしてまいりました。代表的な口腔外科疾患である口腔がん、顎変形症、口唇口蓋裂の治療をはじめ、顎口腔顔面領域の外傷や炎症、開業医では対応が困難な多様な全身疾患をもつ高齢者の抜歯、高難度症例のインプラント治療など、幅広い疾患に対応しています。

現在、教室員は教授、永田順子講師、金氏毅病院講師、清宮弘康、平山聞一、中村友梨の3助教、および医員2名、歯科研修医6名、大学院生4名、歯科技工士1名、歯科衛生士8名で構成されています。当診療科は日本口腔外科学会をはじめとするさまざまな関連学会の臨床研修教育施設として認定されており、医局員には各種専門医の取得を勧めています。また、教室より県立延岡病院に3名、藤元総合病院に3名、県立日南病院に2名の歯科医師を派遣しており、各関連病院の医局員と密に連携を図ることで口腔領域における宮崎県内の医療の質の向上に取り組んでいます。更に、各種学会の主幹・開催のほか、顎変形症、口唇口蓋裂、インプラントの研究会を新たに立ち上げ、地域への学術情報発信や地域医療機関との連携強化にも積極的に努めております。

当教室は、咀嚼・嚥下・構音・呼吸といった口腔器官の機能を育成し、健全な状態で維持できるように、広範囲の内容を含む診療を目指しています。その一環として2017年4月に永田順子講師（病院教授）をセンター長とする「口唇口蓋裂・口腔育成センター」を開設しており、リハビリテーション科・小児科・耳鼻咽喉科・形成外科など多領域・多職種との連携により顎や咬み合わせの問題（口唇口蓋裂、顎変形症、先天異常症候群）、口腔機能障害など多様な症状の治療を行っています。また周術期の口腔ケアにより全身麻酔手術、放射線治療、化学療法を受ける患者様が「合併症を生じることなく治療に専念することができること」、「適切な入院期間で治療を完遂できること」の支援を目的に、2019年5月に「周術期口腔ケアセンター」を開設いたしました。センター長の金氏毅病院講師のもと、月～金までいつでも簡便にご紹介いただけるスクリーニング制度導入や人員配置を行い、院内より月に約150～200人ほどの患者様をご紹介いただいております。口腔内衛生環境改善と口腔機能維持増進による入院患者のQOL向上に努めております。

臨床研究では「口腔がんにおける免疫チェックポイント阻害薬の有効性」「内視鏡や歯科顕微鏡を用いた低侵襲治療」「口唇口蓋裂や外科的顎矯正などのより安全な治療方式の改良」「周術期口腔機能管理」などを行っています。リサーチマインドを有する口腔外科医を育てるため、大学院進学を勧め、解剖学講座組織細胞学分野の菱川善隆教授や感染症学講座免疫学分野の佐藤克明教授の指導の下で基礎研究を行っています。大学院修了後は、大学院での研究テーマを臨床現場にフィードバックし、次世代の革新的な診断・治療法の開発を目指し、特許出願などの成果にもつなげています。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(放射線科医会)

かきつばたようすけ
杜若 陽祐 会長

資料によると、第1回の宮崎県放射線科医の会は1977年（S52年）4月に開催されています。それ以来、会長は大学放射線科の教授が担当していましたが、昨年9月に前教授が熊本大学へ転任されたため、その後を私が引継いで

います。よろしくお願いいたします。

少し過去を振り返ってみると、宮崎県の放射線科医が組織として活動できるようになったのは、1974年（S49年）に宮崎医科大学（現：宮崎大学医学部）が開学し、1976年4月に九州大学から渡辺克司教授（故人）、他3名が着任されてからと思われます。当時の放射線科医局員は7人程度でしたが、実際に放射線科医が増えてきたのは医大の学生が卒業し始めてからです。1980年（S55）には私を含めた第1期生3人が入局し、その後も新卒で2期生3人、3期生4人、4期生2人などと最初の10年で38人の入局者がありました。その後も徐々に医局員は増え、1期生が卒業してから20年後の2000年（H12年）には放射線科医会の会員は113人となりました。

しかしながら、2004年（H16年）に始まった新しい研修医制度により、大学に残る学生が減少しました。これは宮崎大学のみならず、地方大学医学部の大きな悩みとなっています。放射線科においても以前と比べて入局者が少なくなっており、県内にある公的病院の放射線科の必要人数を埋めきれていないのが現状です。現在、放射線科医会の会員は103人（男性77人、女性26人/勤務医83人、開業医20人）と、2000年よりも減少してしまいました。また、年齢も20～40歳台30人、50歳台46人、60歳台20人、70歳台以上7人と、高齢化が進んでいます。こ

のままでは、将来の放射線科診療にマンパワー不足をきたすのではないかとちょっと心配しているところです。

このような中で今年の放射線科医会の大きな出来事の一つが、当会の会員でもある東美菜子先生が放射線科の第4代教授に就任されたことです。臨床医学講座の教授としてはおそらく女性初ではないかと思いますが、今後、先生のもとで新しい放射線科が発展し、入局者が増えていくことを期待したいと思います。

放射線科医会の活動としては毎年、宮崎県画像医学研究会を開催していますが、2020年と2021年はコロナウイルス感染症のため開催されませんでした。その他、放射線科として宮崎CT研究会、宮崎MRI研究会、宮崎血管内治療IVR研究会、宮崎RIカンファレンス、宮崎県核医学研究会などを毎年開催しています。直近では宮崎CT研究会（2019年6月）で、藤田医科大学の片田和広名誉教授に、“最近の320列CTの進歩について”、宮崎MRI研究会（2020年1月）で北海道大学画像診断学の工藤與亮教授に、“造影ダイナミックCT・MR灌流画像の変遷と最新情報”についての講演をしていただきました。コロナ禍ではこのような身近な研究会や勉強会が減っていますが、早く感染が落ち着き、以前のようにリアルな研究会で活発な討論をしたいものです。なお、近日中の学会開催として、来年2月13日に第194回日本医学放射線学会九州地方会・第57回核医学会九州地方会を東美菜子教授主催で開催予定です（Web開催）。

放射線科は画像診断や放射線治療、IVRなどを通して他の診療科の先生方と密接に結びついた診療科です。先生方には日頃から放射線科医と気軽に連絡を取っていただき、その情報や技術を日常診療に役立てていただきたいと思います。今後とも放射線科医会をよろしくお願いいたします。

第2回各郡市医師会長協議会

と き 令和3年9月28日(火)

ところ 県医師会館および各郡市医師会館他（Web会議）

1 開 会

小牧常任理事の司会により開会し、まん延防止等重点措置の解除を検討するため、急遽、宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会が開催されることになり、県担当者が出席できなくなったことが説明された。

河野会長から、新型コロナウイルス感染症対応に対して感謝の言葉が述べられ、報告、協議に入った。

2 報告および協議

1) 9/21(火)都道府県医師会長会議について

河野会長から、「令和4年度診療報酬改定について」、および「新型コロナウイルス感染症に対する今後の医療提供体制について」の各テーマで行われたグループ討議の内容について報告がなされた。

2) 新型コロナウイルス感染症について

吉田常任理事から、同時刻に開催中の宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会の資料に基づき、第5波と第3、4波との感染状況の比較、医療提供体制、新型コロナワクチン接種状況、宮崎空港に設置されたPCR検査センターなどの検査体制などについて説明された。

引き続き、石川常任理事から、新型コロナ自宅療養者の健康観察体制確保事業について、次のような説明があった。本事業は県から県医師会が受託し、本来保健所が行



う自宅療養者に対する健康観察を、地域の医師や訪問看護ステーションの看護師が代わりに行うものである。具体的には訪問看護師がパルスオキシメータを患者宅に届け、電話で健康状態の聞きとりを行い、医師は訪問看護師からの情報をもとに医療の必要性などの判断を行う。あくまで健康観察の範囲の業務であり、実際に患者を訪問して診察をすることは想定していない。この事業は地域の患者数や保健所業務の逼迫度合に応じて実施するため、現時点では都城地区で実施しており、また宮崎市保健所管内では試行的に実施している。

その他、各郡市医師会長から、第5波の経験を踏まえ第6波に向けた病床・宿泊療養施設、人材の確保、抗体カクテル療法などの実施体制の整備、若年者へのワクチン接種の推進などについて問題提起があり協議された。なお、あらかじめ各郡市医師会から提出された県に対する意見・要望に対しては、県から書面で回答がなされた。

出席者

各郡市医師会長

川名（宮崎）・田口（都城）・佐藤（延岡）・
千代反田（日向）・永友（児湯）・松本（西都）・
中村（南那珂）・内村（西諸）・植松（西臼杵）
会長，帖佐（宮大医）理事

県医師会

河野会長，山村副会長，
吉田・小牧・荒木・池井・金丸・石川・
高木常任理事，

川野・佐々木・米澤・帖佐（兼任）・嶋本・
園田・赤須・大塚・玉置・上山理事

県医事務局

竹崎局長，園山次長，
久永・松本・牧野・野尻課長，
湯淺課長補佐，田崎係長，
横山・羽田野主事，
杉田医師国保組合事務長，
小川医師協同組合事務長

お知らせ

年末・年始の休館について

県医師会館（医師会，医師国保，医師協同組合，病院企業年金基金）は
年末・年始休業のため，下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

期 間 令和3年12月29日(水)～令和4年1月3日(月)
緊急連絡先 総務課長 080-5259-8429
事務局長 090-9572-1385

宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議

と き 令和3年10月7日(休)

ところ 県 医 師 会 館

濱田副会長の進行により開会。はじめに、県医療事故調査支援団体連絡協議会の河野会長から挨拶があり、新型コロナウイルス感染症対応に対して感謝の言葉が述べられた。続いて、県医師会医療事故調査支援委員会の比嘉委員長から、これまで25件の貴重な事例が調査報告書として医療事故調査・支援センターへ報告された。その中には、死因の特定が困難であった事例もあり病理解剖の重要性が再確認された。今後も医療機関などの医療安全の取り組みをサポートし、医療事故調査制度の正しい理解の普及にも尽力していきたいと挨拶があり、報告・協議に入った。

1 報 告

1) 県医療事故調査支援団体連絡協議会の委員について

濱田副会長から、本年9月末をもって任期満了となる委員について、協議会設置要綱第4条による委員をもって構成することが報告され、新しく就任された菱川善隆宮崎大学医学部長から自己紹介があった。

任期は、令和3年10月1日から令和5年9月30日の2年間で、協議会会長は、同規定により、県医師会の河野会長が務めることが報告された。

2) 県医師会医療事故調査支援委員会の委員について

濱田副会長から、本年9月末をもって任期満了となる委員について、委員会設置要綱第3条に基づき、県医師会会長が委嘱した委員が就任することが報告され、新委員から自己紹介があった。なお、今回から県立宮崎病院、潤和会記念病院、宮崎江南病院から各1名が新たに就任され29名となった。

任期は、令和3年10月1日から令和5年9月30日の2年間。



2 協 議

1) 県医師会医療事故調査支援委員会の委員長互選等について

委員会設置要綱第3条の規定により、委員長は、引き続き、宮崎東病院の比嘉利信名誉院長が選出された。続いて、副委員長に、介護老人保健施設むつみ苑の下菌孝司施設長、県立延岡病院の寺尾公成院長、都城医療センターの吉住秀之院長、県立宮崎病院の眞柴晃一助院長の4名が委員長から指名され承認された。眞柴先生は今回初就任となる。

また、常任委員会の委員には、比嘉委員長、下菌・寺尾・吉住・眞柴副委員長、濱田・山村副会長、吉田・小牧・荒木常任理事が就任することが承認された。

3 意見交換

1) 医療事故調査・支援センターの現況報告及び県医師会医療事故調査支援委員会の支援状況について

意見交換会に先立ち、濱田副会長から、医療事故調査・支援センター（全国）の現況について報告があった。制度発足の平成27年10月から令和3年8月までの医療事故報告件数は2,156件、院内調査結果報告件数は1,828件、また、人口100万人あたりの医療事故発生報告件数（制度開始からの

累計)を1年換算した件数が、本県は昨年時点で5.5件で全国1位となっていることが報告され、委員の先生方の制度普及活動に対して感謝の言葉が述べられた。

本委員会の支援状況については、はじめに濱田副会長から、令和2年度および発足時の平成27年10月から令和3年9月までの累計の相談報告件数や調査報告件数などの説明があった。累計では、相談件数が40件で、そのうち医療事故調査・支援センターへ事故発生報告した事例が31件、院内医療事故調査を終え当該センターへ調査結果を報告した事例が25件となっていることが報告された。また、相談件数40件のうち、初期・初動支援要請が20件であり、その内訳は、事例の対象となるか否

かの相談が最も多く16件、そのうち報告の対象と判断した事例は10件であったことが報告された。続いて、比嘉委員長および下藺・寺尾・吉住副委員長から、支援進行中の事例を中心に進捗状況の報告があった。

そのほか、濱田副会長から、昨年の本制度発足5年の節目にあたり、本県が人口100万人あたりの発生報告件数が全国1位であることを受け、本県の医療安全に対する積極的な取組みが注目され、取材や厚生労働省科学研究班のヒアリングなどに対応したことの報告があった。

意見交換では、本制度における病理解剖の重要性や今後の医療安全の取組みとして本県の調査報告を会員へフィードバックできないかなどの意見が出た。

出席者－県医療事故調査支援団体連絡協議会

県医師会長 河野会長
宮崎大学医学部長 菱川委員
県歯科医師会長 重城委員
県看護協会会長 中武委員
県助産師会長 森委員

県医師会医療事故調査支援委員会

国立病院機構宮崎東病院名誉院長 比嘉委員長(常任委員)
介護老人保健施設むつみ苑施設長 下藺副委員長(常任委員)
県立延岡病院長 寺尾副委員長(常任委員)
国立病院機構都城医療センター院長 吉住副委員長(常任委員)
県医師会副会長 濱田委員(常任委員)
” 山村委員(常任委員)
県医師会常任理事 吉田委員(常任委員)
” 荒木委員(常任委員)
宮崎大学医学部附属病院長 帖佐委員
宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 綾部委員
宮崎大学医学部病理学講座腫瘍・再生病態学分野教授 片岡委員
国立病院機構宮崎病院長 宮尾委員
県立延岡病院 cardiovascular supervisor 中村委員
県立日南病院副院長 市成委員
古賀総合病院長 今村委員
宮崎江南病院長 白尾委員
県医師会病院部会長 池井委員
県精神科病院協会名誉会長 高宮委員
県歯科医師会常務理事 崎山委員
県薬剤師会副会長 本田委員
県助産師会副会長 田中委員
県臨床工学技士会医療機器安全対策委員会委員長 松岡委員

事務局－竹崎局長、園山次長、久永課長、湯浅課長補佐

県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会

と き 令和3年11月9日(火)

ところ 県 医 師 会 館

来年度の県政に関する要望を行うために本会主催で開催した。小牧常任理事の司会により開会し、河野会長、重黒木福祉保健部長、桑山病院局長の挨拶の後、事前に郡市医師会の意見も踏まえ取りまとめた下記の事項について県へ要望し、意見交換を行った。

要望事項

1 医師確保について（金丸常任理事）

2 子どもの発育段階に応じた医療の充実について（高木常任理事）

- ・子育て世代包括支援センターの充実
- ・県立学校医報酬および県立学校の児童・生徒の心臓検診料金単価について
- ・予防接種について
- ・県央地区における小児の時間外診療について
- ・学校健診時における脱衣の考え方について

3 妊娠期からの子育て支援のために

（濱田副会長）

- ・県立病院産婦人科勤務医師の確保について
- ・妊産婦のトータルケアについて
- ・性教育統合支援センターの構築について
- ・助産師養成に関して

4 スポーツメディカルセンターの設置について

（帖佐理事）

5 女性医師支援について（荒木常任理事）

- ・「みやぎきドクターバンク」の充実
- ・女性医師復職・キャリアアップ支援
- ・保育支援サービス事業の継続



6 医師会立看護師・准看護師養成校への財政支援と、県立病院の採用について

（瀬ノ口常任理事）

- ・医師会立看護専門学校に対する支援について
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」における指定研修機関の設置について
- ・県立病院の看護師採用について

7 在宅医療と地域包括ケア（石川常任理事）

8 救急災害に関する県への要望について

（池井常任理事）

- ・災害時における医療供給体制整備について
- ・消化管輪番制・脳血管障害輪番制度について（延岡市医師会）

9 新型コロナウイルス感染症対策について

（吉田常任理事）

- ・新型コロナの感染再拡大に備えた対応について
- ・医療機関に対する財政的支援について

10 その他

1) 西都児湯医療センターへの支援について（西都市西児湯医師会）（大塚理事）

- ・医師確保について
- ・新病院建設について

出席者

【県福祉保健部】

重黒木部長，小川次長（福祉担当），
和田次長（保健・医療担当），
山下福祉保健課長，牛ノ濱医療薬務課長，
林薬務対策室長，福山長寿介護課長，
津田医療・介護連携推進室長，
重盛障がい福祉課長，市成健康増進課長，
有村感染症対策室長

【医療薬務課】

徳地課長補佐，甲斐主幹（医務・計画担当），
平井主幹（医師確保担当），
稲用副主幹（医療体制担当），
鵜副主幹（看護担当），
手塚副主幹（薬務対策室 薬務担当）

【病院局】

桑山局長，小牧次長兼経営管理課長
[経営管理課]
佐藤課長補佐，宮田主幹（人事・管理担当）

【教育庁】

横山教職員課主幹（管理担当），
矢野スポーツ振興課主幹（健康教育担当）

【県医師会】

河野会長，濱田・山村副会長，
吉田・小牧・荒木・池井・金丸・石川・
瀬ノ口・高木常任理事，
峰松・川野・岩村・帖佐・嶋本・園田・
赤須・大塚・玉置・上山理事，
竹崎事務局長，園山次長，
久永・松本・牧野・野尻課長，
湯浅課長補佐，畠中・羽田野主事，
杉田医師国保事務長，小川協同組合事務長

11月のベストセラー（宮崎県）

集計：2021年11月1日～11月29日

1	そして、バトンは渡された	瀬 尾 まいこ	文 藝 春 秋
2	聖 域	コムドットやまと	角 川 書 店
3	倒産続きの彼女	新 川 帆 立	宝 島 社
4	雪見酒 新酔いどれ小藤次②①	佐 伯 泰 英	文 藝 春 秋
5	親愛なるあなたへ	カンザキイオリ	河出書房新社
6	透明な螺旋	東 野 圭 吾	文 藝 春 秋
7	もしも徳川家康が総理大臣になったら	眞 邊 明 人	サンマーク出版
8	護られなかった者たちへ	中 山 七 里	宝 島 社
9	最強脳	アンデシュ・ハンセン	新 潮 社
10	変な家	雨 穴	飛 鳥 新 社

日医インターネットニュースから

■OL診療、「原則かかりつけの医師で」 — 指針改定で厚労省 —

厚生労働省は11月10日に開いた「オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会」（座長＝山本隆一・医療情報システム開発センター理事長）で、これまでの議論を踏まえて、指針改定の方向性を示した。「初診からのOL診療は原則かかりつけの医師が行うものであり、対面診療が必要になった場合には当該かかりつけの医師が行うことが原則」だとした。厚労省はOL診療について、明確な定義を定めていない「かかりつけ医」という言葉とは別に、「かかりつけの医師」という言葉を意図的に使用。改定する指針では、「かかりつけの医師」のイメージも示す構えだ。

厚労省は指針改定の方向性で、かかりつけの医師以外の医師が初診からのOL診療を行うのは「例外」だとした。例外として、かかりつけの医師がOL診療を行っていない場合や、患者にかかりつけの医師がいない場合などが想定されるとしている。

OL診療後の対面診療は、「かかりつけの医師が存在する場合には、かかりつけの医師に紹介され実施されることが望ましい」と説明。「OL診療は直接の対面診療を適切に組み合わせて行うことが原則」だとしている。

●OL診療は対面診療の「補完」か否か

議論の中で佐藤主光構成員（一橋大大学院教授）は「かかりつけの医師」について、一般的にも分かるように具体的な基準を示すべきではないかと主張。厚労省は「かかりつけの医師」について、これまでの議論では、過去の対面診療で直接的な医師・患者関係がある場合を想定して用いてきたと説明し、改定する指針にどう書き込むかを検討していく姿勢を示した。OL診療と対面診療の関係については、意見に温度

差があった。今村聡構成員（日本医師会副会長）は、対面診療を行わずにOL診療だけを手掛けることは「医療機関の機能として十分なのか」と疑問を投げ掛け、「あくまでもOL診療は対面診療を補完するためのものであって、上手にそれを活用していくことが重要」だと述べた。他方、佐野雅宏構成員（健保連副会長）は「OL診療は対面診療の補完ではなく、新たな診療形態の一つとして位置付けるべき」だとした上で、「患者の安全安心を確保するためには、対面診療との適切な組み合わせは必要」だと語った。

●診療前相談、義務化を強めることに懸念

指針改定の方向性では、診療前相談についても説明。「診療前相談はOL診療が可能かどうかを判断する枠組みであり、この段階では処方や診断は行わない」「診療前相談を経てOL診療を実施する場合には、診療前相談で得た情報についても診療録に記載する」といった考え方を示した。南学正臣構成員（東京大大学院教授）はこれに理解は示しつつも、診療報酬が付かない医師の相談について義務化を強めれば、医療機関経営の圧迫につながる可能性を指摘。義務化の強化には「違和感がある」と述べた。

（令和3年11月12日）

■MSDのコロナ経口薬「160万人分」確保 — 後藤厚労相が交渉 —

政府は11月10日、軽症から中等症の新型コロナウイルス感染症患者に用いるMSDの経口治療薬モルヌピラビルについて、160万人分を日本向けに確保することで同社と合意した。今後の薬事承認を前提に、年内に20万人分、来年2月と3月にそれぞれ20万人分、それ以降に100万人分を確保する見通しだ。モルヌピラビルは1日2回5日間、服用する。同社は日本で

の早期の承認申請を目指して準備を進めている。

岸田文雄首相は10月下旬、経口治療薬の必要量を確保するよう後藤茂之厚生労働相に指示した。

10日夜に会見した後藤厚労相は、自身がMSDや親会社の米メルクの幹部と面会し、交渉してきたと説明。コロナ治療薬について「国産経口治療薬も含め、さらなる確保に向けて引き続き取り組んでいきたい」と述べた。

(令和3年11月12日)

■医療経済実態調査の結果を報告

— 中医協 —

厚生労働省は11月24日の中医協調査実施小委員会（小委員長＝秋山美紀・慶応大環境情報学部教授）で、2022年度診療報酬改定の基礎資料となる第23回医療経済実態調査の結果を報告した。一般病院全体の20年度医業・介護損益率は6.9%の赤字だったが、新型コロナウイルス感染症関連の補助金を含めると0.4%の黒字を計上した。ただ、医療法人立の病院は補助金計上前の医業・介護損益段階から黒字を計上している一方、公立病院は補助金計上後も赤字となるなど、設立主体などによるばらつきが大きかった。

●20年度改定前後の損益状況を比較

第23回医療経済実態調査は、20年度改定前後の2事業年度（19年度、20年度）の損益状況を比較。一般病院全体の補助金計上前の医業・介護収支の赤字幅は、19年度と比べて3.8ポイント拡大した。設立主体別で見ると、医療法人は0.1%の黒字を計上したが、黒字幅は19年度より1.7ポイント低下している。国立は9.2

%, 公立は21.4%, 公的は3.0%の赤字をそれぞれ計上し、いずれも赤字幅は19年度より拡大している。補助金を含めた損益率は、医療法人で2.3%, 国立で6.8%, 公的で5.4%の黒字だったが、公立では7.3%の赤字を計上した。公立は自治体の一般会計からの繰り入れなどは含まれていない。

●コロナ受け入れ実績でもばらつき

新型コロナウイルスの重点医療機関に指定された病院は、補助金計上前では10.7%の赤字だが、補助金計上後は2.2%の黒字。一方、協力医療機関に指定された病院は、補助金計上前が8.0%赤字、補助金計上後も3.4%赤字となっていた。コロナ受け入れ病床を割り当てられた病院と割り当てられていない病院では、いずれも補助金計上の有無にかかわらず赤字となっていた。

コロナの入院患者（疑似症例を含む）の受け入れ実績のある病院は、補助金計上前は9.4%の赤字だが、補助金計上後は0.7%の黒字。コロナから回復した患者の受け入れがあった病院では、補助金計上前が0.1%, 計上後が1.2%の黒字だった。コロナ対応医療機関からコロナ以外の患者の転院を受け入れた病院は補助金計上前が0.5%赤字、計上後が0.4%の黒字。いずれの対応もない病院は補助金計上前が2.5%, 計上後が1.7%の赤字となった。

精神科病院は、補助金計上前の損益が4.5%赤字、補助金計上後が2.2%赤字。補助金計上前の赤字幅は19年度と比べて1.9ポイント拡大した。有効回答率は病院が52.8%（前回調査比0.5ポイント減）、一般診療所が54.8%（1.7ポイント増）だった。（令和3年11月26日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。ぜひご利用ください。

※実施期間および接種期間：令和4年3月末日まで ※請求期限：令和4年5月20日まで

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導 ※無料で受診できます

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

◆日曜日の集団健診

場 所：宮崎市郡医師会病院健診センター

日 程：令和4年1月23日・2月13日・3月6日

申込方法：※①～③いずれかの方法でお申込みください

- ① スマートフォン、タブレットなどからQRコードにアクセス⇒して申込
- ② 宮崎県医師国保組合のホームページから申込
- ③ 宮崎県医師国保組合へお電話で申込（TEL 0985-22-6588）

日曜健診のWeb申込
ができるようになりました！



※日曜健診でのオプション（胃部内視鏡検査、低線量ヘリカルCT肺がん検診）はすべての日程で定員に達しました。

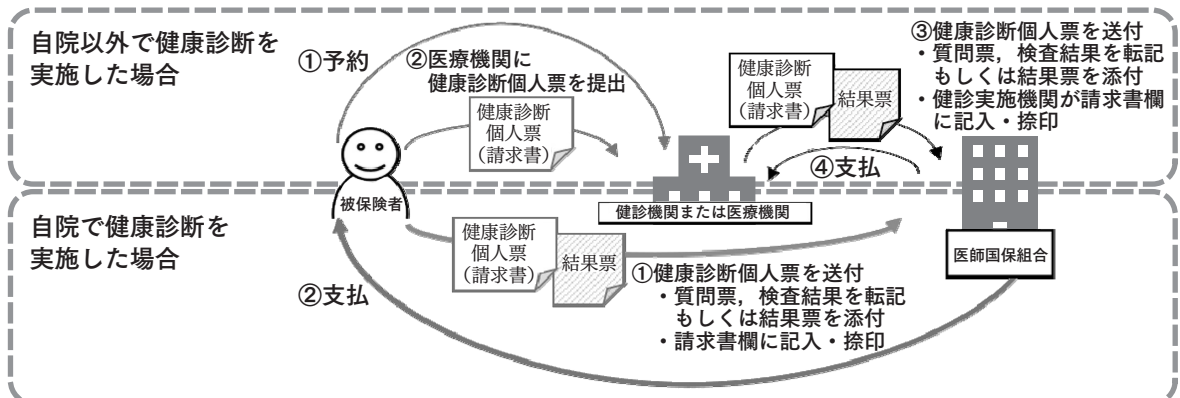
※平日・土曜日の健診のご予約・お問い合わせは健診センターへ直接お電話ください。

（TEL 0985-77-9108）

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合へ請求することができます。

自家健診でご不明な点がございましたらお問い合わせください。



特定保健指導**◆対象者**

対象者には、当組合より利用券を送付します。特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。

2 インフルエンザワクチン接種補助**◆対象者**

被保険者全員並びに高齢組合員

◆補助金額

1人1回2,000円（高齢組合員は1,000円）

3 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合Webサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）
- 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 6) 歯科健康診査（無料）

申請書は、
当組合Webサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保からのお知らせ

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

<被保険者の資格喪失届について>

世帯内のご家族が協会けんぽなどの他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課
TEL 0985-22-5118

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

**令和3年10月5日(火) 第12回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

①宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議における委員の推薦について
→障がい者の虐待防止および権利擁護を推進するために設置される連絡会議の任期満了による委員の推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

2. 令和3年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著な方に対する表彰の推薦依頼があり、各郡市医師会に照会の結果、4名を推薦することが承認された。

3. 11/16(火) (県医) 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会の開催について

宮崎大学との連携強化のため意見交換をする懇談会で、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、出席者を本会役員と大学側は学長、医学部長、病院長と新任の教授のみに絞って開催することが承認された。

4. 「令和3年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会」都道府県医師会へのご案内につ

いて

在宅医療推進の中心的役割を担うリーダー育成を目的とする研修会で、石川常任理事の出席が承認された。また、郡市医師会へ案内することが承認された。

5. 令和3年度県内医療機関Web合同就職説明会について

県立看護大学が学生に対する就職支援として県内の医療機関の情報をより多く得る機会を設けることを目的に開催するWeb説明会で、医療機関への周知に協力することが承認された。

(報告事項)

1. 9月末日現在の会員数について
2. 10/2(土) (県医) 九医連常任委員会について
3. 9/28(火) (県庁) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
4. 10/2(土) (県医) 九医連各種協議会について
5. 10/5(火) (県医) 治験審査委員会について
6. 10/1(金) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について
7. 10/1(金) (県医) 医療従事者向け認知症対応力向上研修会について

医師連盟関係**(議決事項)****1. 秋田章二君の第71代福岡県議会議長就任にあたって**

福岡県議会議員議長に就任された福岡県医師会員の秋田章二先生の就任祝賀会に協力することが承認されるとともに、参加を希望する役員は事務局に申し出ることとなった。

(報告事項)**1. 10/24(日) (シーガイア) 河野しゅんじ県政報告会の延期日程のご案内**

令和3年10月12日(火) 第13回常任理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 12/4(土) 令和3年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について**

「人工妊娠中絶, Up to date - 母体の安全・安心を改めて考える -」をテーマに開催される講習会で, 県医師会から濱田副会長と県産婦人科医会から3名が出席することが承認された。

2. 10/29(金) 九州医師会連合会第395回常任委員会(Web会議)の開催について

河野会長の出席が承認され, 提出議題などについては河野会長に一任することとなった。

3. 11/13(土) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会並びに第121回九州医師会連合会総会・医学会の開催について

11/13(土)に沖縄県で開催される九州医師会連合会総会および関連行事について, 開催形態が原則Web会議となることや内容について説明があり, 役員に対し出席の依頼がなされた。

4. 令和4年2月5日(土) 九州医師会連合会令和3年度第2回各種協議会の開催種目について

開催種目について意見のある場合は事務局に提出し, 取り扱いは河野会長に一任することとなった。

5. 12/12(日) 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会の開催について

学校保健のあり方を検討することを目的として開催される協議会で, 高木常任理事と佐々木理事の出席が承認された。

(報告事項)**1. 週間報告について****2. 10/7(木) (県医) 県医療事故調査支援団体連**

絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議について

3. 10/9(土) (シーガイア) 県医病院部会・医療法人部会合同研修会について**4. 10/7(木) (県医) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について****5. 10/8(金) (県医) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会について****6. 10/11(月) (県医) 園医部会総会・研修会について****医師連盟関係****(議決事項)****1. 11/9(火) 日本医師連盟執行委員会(TV会議実施)開催について**

河野委員長と吉田常任執行委員の出席が承認された。

(報告事項)**1. 10/9(土) (江藤拓事務所) 江藤拓候補陣中見舞いについて****令和3年10月26日(火) 第7回全理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 会費減免申請について**

疾病による会費減免2名(日医および県医), 高齢による会費減免2名(県医), 研修医の会費減免4名(日医および県医)が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について**①「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会の委員推薦について**

→本県において特定行為に係る看護師の研修制度推進に向けて必要な事項を検討するために設置されている検討会の委員の推薦依頼があり, 引き続き岩村理事と赤須理事を推薦することが承認された。

②宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における
委員の推薦について

→本県における高齢者虐待防止対策を総合的に推進するとともに、関係機関の連携などを図るために設置されている連絡会議の委員の推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

③宮崎大学医学部附属病院医師研修管理委員会の委員について

→宮崎大学附属病院群における卒後臨床研修を統括し円滑に実施するために設置されている委員会について、河野会長への再任依頼があり承認された。

3. 11/9(火) (県医) 県福祉保健部・病院局と
県医師会との意見交換会について

当日の進行方法や役割分担が確認された。また、県への要望書(案)について修正などある場合は10月29日(金)までに事務局を通して会長に申し出ることとなった。

4. 令和4年2月19日(土)・20日(日) 令和3年度
日本医師会医療情報システム協議会の開催
について

「新しい時代の医療ICT－ウィズコロナを生き抜く」をテーマに医師会会員および事務職員を対象に開催される協議会で、荒木常任理事と嶋本理事の出席が承認された。

5. 令和4年10月9日(日) 日本小児科医会生涯
研修セミナーin宮崎への寄付金について

「日本のひなた宮崎からの発信～コロナ禍の学び～」をテーマに宮崎市で開催されるセミナーへの寄付金依頼があり協力をすることが承認された。

6. 第31回日本医学会総会登録推進(登録推進
委員の推薦)について

令和5年4月21日(金)から3日間、東京で開催される日本医学会総会について、参加登録推進担当役員の推薦依頼があり、嶋

本理事を推薦することが承認された。

7. 11・12月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10/13(水) (支払基金) 支払基金支部運営委員会について

3. 10/14(木) (県庁) 県立病院事業評価委員会について

4. 10/19(火) (県医) 日医理事会について

5. 10/23(土)・24(日) (県医) 全国有床診療所連絡協議会役員会・総会について

6. 10/22(金) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

7. 10/22(金) (県医) 日医公衆衛生委員会について

8. 10/13(水)・22(金) (県医) 広報委員会について

9. 10/14(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

10. 10/15(金) (県庁) 県個人情報保護審議会について

11. 10/16(土) (県医) ICLS指導者養成ワークショップについて

12. 10/17(日) (県医) ACLS研修会について

13. 10/15(金) (県庁) 県医療審議会医療計画部会について

14. 10/24(日) (宮日会館) 宮崎から医師を目指そう! 応援フォーラムについて

15. 10/21(木) 全国医師会産業医部会連絡協議会について

16. 10/23(土) (県医) 産業医研修会(実地)について

17. 10/25(月) (県医) 産業医部会総会・研修会について

18. 9/29(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

19. 10/20(水) (県医) 労災診療費算定実務研修会について

20. 10/2(土) 全国医師会勤務医部会連絡協議会

について

21. 10/8(金) 都道府県医師会運動・健康スポーツ医学担当理事連絡協議会について
22. 10/9(土)・10(日) (県医) 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について
23. 10/2(土) (県医) 県警察医会総会・特別講演会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. その他

次期県知事選挙への現時点での対応方針

について、書面にて県医師連盟執行委員会に諮ることとなった。

(報告事項)

1. 10/22(金) (JA-AZM) 県経済団体協議会代表者・幹事合同会議について
2. 10/24(日) (シーガイア) 河野しゅんじ県政報告会について
3. 11/7(日) 参議院議員 長峯誠 政経セミナー新しい開催日時のお知らせについて

日本医師会

医師年金

—ご加入のおすすめ—

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。

日本医師会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます(申し込みは64歳3カ月までをお願いします)。

医師年金
ホームページで
ご加入時の

受取年金額のシミュレーションが
できます！

医師年金

検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続ガイド お問い合わせ・資料請求

豊かで安心できる将来に向けて

見直し機能拡充 現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか？

医師年金シミュレーション

ご加入の際の年金額についてシミュレーションしてみよう。

保険料からシミュレーション 受給年金からシミュレーション

マイページに登録した後、ネット上で医師年金加入の仮申し込みができます。

マイページ登録 マイページへログイン

【シミュレーション方法】

トップページから「シミュレーション」に入り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入力すると、年金プランが表示されます。

【仮申し込み方法】

「マイページ」に登録すると、ネット上で医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直) (平日 9時半～17時)

県 医 の 動 き

(11月)

2	治験審査委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 第14回常任理事協議会（会長他） 母体保護法指定医師審査委員会（濱田副会長他）
4	日医予防接種・感染症危機管理対策委員会（Web会議）（峰松理事）
5	認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（石川常任理事） 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長他）
6	日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議（Web会議）（荒木常任理事他）
7	長峯誠参議院議員との意見交換会（河野委員長）
8	介護保険委員会（Web会議）（山村副会長他）
9	日医連執行委員会（Web会議）（河野委員長他） 第15回常任理事協議会（会長他） 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会（会長他）
10	支払基金支部運営委員会（会長）
11	広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（嶋本理事他）
12	（日医）日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事）
13	九医連委員・九州各県役員合同協議会（Web会議）（会長他） 全国歯科保健大会（山村副会長） 九州医師会総会・医学会（Web会議）（会長他） 九州小児科医会保険審査委員連絡協議会（Web会議）（高木常任理事） 九州小児科医会役員会（Web会議）（高木常任理事）
14	九医学分科会
15	県経済団体協議会代表者・幹事合同会議（会長） 県循環器病対策推進協議会（金丸常任理事） 県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会（Web会議）（高木常任理事） 健康スポーツ医学委員会（濱田副会長他）
16	日医理事打合会（Web会議）（会長） 県高齢者虐待防止連絡会議（石川常任理事） 日医理事会（Web会議）（会長） 県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議（石川常任理事） 第8回全理事協議会（会長他） 宮崎大学と県医師会（役員）との懇談会（会長他）

17	日医会員の倫理・資質向上委員会（Web会議）（会長）
18	医協会計監査（河野理事長他） 県特定行為に係る看護師の研修制度推進検討会（岩村理事他）
19	都道府県医師会医師の働き方改革担当理事連絡協議会（Web会議）（池井常任理事他） 県医療審議会医療計画部会（山村副会長他） 医学賞選考委員会（濱田副会長他）
20	日医未来医師会ビジョン委員会（Web会議）（大塚理事） 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web会議）（金丸常任理事）
21	県整形外科医会研修会
22	次期知事選への出馬要請（河野委員長） 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会（金丸常任理事）
24	県歯科保健推進協議会成人期実務者会議（荒木常任理事） 労災診療指導委員会（川野理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本理事） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 奥様医業経営塾特別セミナー（Web会議） 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長他）
25	医師国保組合理事会（秦理事長他）
26	日医医師会共同利用施設検討委員会（山村副会長） 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会（Web会議）（石川常任理事） 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（Web会議）（濱田副会長他） 県医中間監事監査（会長他）
27	九州学校検診協議会専門委員会（高木常任理事他） 宮崎大学医学部附属病院研修ローテート等説明会（金丸常任理事）
28	小児在宅医療実技講習会（石川常任理事他）
29	九医連災害時医療救護協定書運用マニュアル策定作業部会（Web会議）（山村副会長他）
30	医協理事会（河野理事長他） 第16回常任理事協議会（会長他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和3年11月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 12人

1) 男性医師求職登録数 10人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	3	2
麻酔科	1	0	1
精神科	2	1	1
老健	2	1	1

2) 女性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	2	0	2

2. 斡旋成立件数 84人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和3年度	3	3	6
平成16年度から累計	60	24	84

3. 求人登録 103件 356人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	108	85	23	消化器外科	3	2	1
外科	27	22	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	8	5	3
精神科	16	14	2	泌尿器科	5	3	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	16	14	2	皮膚科	4	2	2
麻酔科	12	9	3	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診療科目不問	3	3	0
脳神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	3	3	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	6	6	0
救命救急科	9	9	0	合計	356	285	71

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230212	医)青葉会のざきクリニック	宮崎市	内,在宅	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透,(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖尿内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖尿内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和3年11月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡ (603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 計 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり (30台) 所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	③ 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台) 所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年12月1日

12			月		
1	水		16	木	14:00 日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議) 14:00 社会保険医療担当者の新規個別指導
2	木	14:00 日医学術推進会議 (Web会議) 19:00 子ども救急医療電話相談 (#8000) に関する意見交換会 (Web会議)	17	金	15:00 県個人情報保護審議会 18:30 指導医のための教育ワー クショップ打合せ会 19:00 広報委員会 (Web会議) 19:00 自殺対策うつ病研修会 (TV会議)
3	金	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会	18	土	9:00 指導医のための教育ワー クショップ 13:25 指導医のための教育ワー クショップ記念撮影 14:00 かかりつけ医認知症対応 力向上研修会 (Web会議)
4	土	13:00 日医家族計画・母体保護法指導 者講習会 (日医TV会議)	19	日	8:30 指導医のための教育ワーク ショップ
5	日	12:30 自見はなこ参議院議員との意見 交換会 13:00 女性医師支援担当者連絡会 (Web 会議)	20	月	19:00 在宅医療研修会企画小委 員会 (Web会議)
6	月		21	火	13:00 日医理事打合せ (Web会議) 14:00 日医理事会 (Web会議) 19:00 医師会立看護学校担当理 事連絡協議会 (Web会議)
7	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第17回常任理事協議会	22	水	13:00 日医会員の倫理・資質向 上委員会 (Web会議) 15:00 労災診療指導委員会
8	水	16:00 支払基金支部運営委員会 19:00 高次脳機能障がい講演会 (Web会議) 19:00 (日南市) 母体保護法設備指定 申請に伴う現地視察	23	木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 医師国保組合理事会
9	木	13:30 都道府県医師会医事紛争担当理 事連絡協議会 (Web会議) 15:30 県デジタル社会推進協議会 19:30 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	24	金	13:30 日医公衆衛生委員会 (Web会議) 14:00 全国医師国保組合連合会運営委 員会 (Web会議) 16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス 感染症担当理事連絡協議会 (Web会議)
10	金	14:00 日医勤務医委員会 (Web会議) 17:00 県地域医療対策協議会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研 修会) (TV会議)	25	土	
11	土	14:30 産業医研修会 (TV会議)	26	日	
12	日	13:00 都道府県医師会学校保健担当理 事連絡協議会 (Web会議)	27	月	
13	月	15:00 県精神科救急医療システム連絡 調整委員会 19:00 広報委員会 (Web会議)	28	火	18:30 医協理事会 19:00 第18回常任理事協議会
14	火	19:00 第2回理事会 終了後 第9回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	29	水	(年末休業)
15	水		30	木	(年末休業)
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。			31	金	(年末休業)

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和3年12月1日

1			月		
1	土	(年始休業)	19	水	19:00 臨床検査精度管理調査実行委員会 (Web会議)
2	日	(年始休業)	20	木	日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議)
3	月	(年始休業)			
4	火	13:00 新年賀詞交歓会	21	金	
5	水		22	土	(福岡)九州各県内科医 会長会議 (沖縄)九医連救急・災害 医療担当理事連絡協議会 (日医)日医未来医師会 ビジョン委員会
6	木				
7	金				
8	土				
9	日		23	日	9:00 (沖縄)九州ブロック災害 医療研修会
10	月	(成人の日)			
11	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第19回常任理事協議会	24	月	19:00 広報委員会 (Web会議)
12	水	16:00 支払基金支部運営委員会 19:00 広報委員会 (Web会議)	25	火	16:30 日医連執行委員会 (Web 会議) 18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会 18:00 医協理事会 18:30 第10回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同 協議会 19:00 各郡市医師会長協議会
13	木	18:00 県認知症疾患医療センター合同 会議 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web 会議)			
14	金	13:30 県後期高齢者医療広域連合運営 懇話会 15:00 県立病院事業評価委員会 18:30 病院部会・医療法人部会合同理 事会・新年会			
15	土	13:30 県訪問看護ステーション連絡協 議会管理者向け研修会			
16	日		26	水	15:00 労災診療指導委員会
17	月	19:00 県小児科医会生涯研修セミナー 準備委員会 (Web会議)	27	木	14:00 (日医)日医予防接種・感 染症危機管理対策委員会
18	火	13:00 (日医)日医理事打合会 13:30 (日医)日医理事会 15:00 (日医)都道府県医師会長会議	28	金	16:30 都道府県医師会新型コロナウイルス 感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) 19:00 県外科医会理事会 (Web会議)
			29	土	15:00 県産婦人科医会冬期総会・講演 会 (Web会議)
			30	日	
			31	月	18:30 勤務医部会第2回理事会 19:00 勤務医部会後期講演会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月2日(木) 14:00～16:00 県医師会館	職場でみられるうつ病とその対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会学術講 演会（Web講習会） 12月3日(金) 18:50～20:20 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地また はWeb	実際の症例から考える心不全管理のポイント 宮崎県立延岡病院 循環器内科 医長 黒木 一公 心腎連関における鉄代謝を考慮した貧血治療の重要性 宮崎県立延岡病院 内科医長 兼 栄養管理科医長 宮崎大学医学部 血液・血管先端医療学講座 助教 戸井田 達典	42 (0.5) 19 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 鳥居薬品(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 （Web講習会） 12月3日(金) 19:00～20:10 ホテルパルフォー ト日向 ※受講はWebのみ	どうしたらいいの？超高齢者心房細動の抗凝固療法 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長 足利 敬一 高齢弁膜症患者に対するカテーテル治療 ～今後の適応拡大と過去5年間の宮崎県内におけるTAVI 治療について～ 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 副部長 木村 俊之	43 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 エドワーズライフサイエンス 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎市郡医師会産業医研修会 12月4日(土) 14:15～17:20 宮崎市郡医師会館	労働衛生の現状等について 宮崎労働基準監督署 安全衛生課 課長 外村 哲史	0 (0.5) 6 (0.5) 8 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	職場のメンタルヘルスに関する産業医の役割 ～精神科医の立場から～ (株)細見クリエーションズ 代表取締役 ウエルフェアみやざき総合研究所 所長 細見 潤	5 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	
第85回宮崎県精神科医会懇話会 (Web講習会) 12月4日(土) 17:00～18:00 岡山県岡山市 ※受講はWebのみ	精神医学と神経学のクロストーク ～てんかんを中心に～ 岡山大学学術研究院 精神神経病態学 教授 山田 了士	5 (0.5) 35 (0.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 エーザイ(株)
宮崎県医師会産業医研修会 12月7日(火) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支援センター	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 医師 田中 伸明 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第12回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 (Web講習会) 12月9日(木) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地またはWeb	訪問診療における整形外科領域疾患について 河野整形外科医院 副院長 河野 雅充	80 (1.0)	◇主催 宮崎市在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域 包括ケア推進センター ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第196回宮崎県眼科 医会講習会 12月11日(土) 16:00～19:15 アートホテル宮崎 スカイタワー	眼科分野における水素の適応 日本医科大学千葉北総病院 眼科 病院教授 五十嵐 勉	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	緑内障治療を最適化するために必要なこと 海谷眼科 岩田和雄記念 海仁緑内障センター 山本 哲也	36 (1.0)	
第14回はまゆう整 形外科セミナー 12月11日(土) 17:30～18:30 宮崎観光ホテル	痙縮に対する整形外科的アプローチ 宮崎県立こども療育センター センター長 川野 彰裕	72 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整 形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
	若年者の上肢疾患症例について考える 藤元総合病院 整形外科 部長 矢野 浩明	78 (0.5)	
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 12月13日(月) 19:00～20:00 小野薬品宮崎県事 務局 ※受講はWebのみ	CKD/DKD診療におけるEBMの変遷 ～降圧療法を中心に～ 埼玉医科大学病院 副院長 埼玉医科大学 腎臓内科 教授 岡田 浩一	32 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡内科医会 ☎0985-77-9100 ◇共催 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株)
		35 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 12月16日(木) 19:00～21:00 県医師会館	企業における障害者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		3 (0.5)	
		6 (0.5)	
		9 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎肝硬変セミナー (Web講習会) 12月17日(金) 19:00～20:30 ホテルJALシティ 宮崎 ※受講は現地またはWeb	脂肪肝診療の現状と課題 宮崎医療センター病院 副院長 兼 消化器・肝臓病センター長 宇都 浩文	82 (0.5)	◇主催 宮崎肝硬変セミナー ◇共催 ※あすか製薬(株) ☎096-322-0771
	肝硬変診療ガイドライン2020のピットフォール ～本当はこわい不顕性脳症～ 奈良県立医科大学 消化器内科学講座(消化器・代謝 内科) 教授 吉治 仁志	32 (0.5)	
宮崎市郡外科医会 冬季講演会 (Web講習会) 12月20日(月) 19:00～20:00 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地またはWeb	呼吸器外科における低侵襲手術例 宮崎大学医学部附属病院 呼吸器・乳腺外科 講師 前田 亮	28 (0.5) 47 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 ☎0985-77-9100
宮崎県医師会産業 医研修会 12月21日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	企業における障害者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第83回宮崎整形外科 科懇話会 12月25日(土) 17:30～18:30 県医師会館	解剖研究からみた肩関節疾患 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 運動器機能形態学講座 教授 二村 昭元	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月11日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	働き方改革に対する産業医・産業保健スタッフの具体的 な関わり方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月14日(金) 19:00～21:00 県医師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 医師 田中 伸明 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡医師会し ののめ医学会特別 講演会 (Web講習会) 1月14日(金) 19:00～20:10 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地また はWeb	冠動脈疾患における抗血栓療法の前線 宮崎大学医学部内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一	15 (0.5) 42 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
西都市西児湯医師 会学術講演会 (Web講習会) 1月17日(月) 19:00～20:10 西都市西児湯医師 会館 ※受講はWebのみ	精神科の在宅医療 社会医療法人如月会若草病院 院長 白土 俊明	13 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市西児湯内科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 1月18日(火) 19:00～20:00 平安病院 ※受講はWebのみ	統合失調症治療におけるDPAの有用性について(仮) 医療法人へいあん 平安病院 法人統括院長・臨床研修センター長 平安 良雄	68 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 大塚製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 1月20日(木) 19:00～21:00 県医師会館	働き方改革に対する産業医・産業保健スタッフの具体的 な関わり方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第89回宮崎大学眼 科学研究会 1月22日(土) 16:00～18:30 KITEN	加齢黄斑変性患者の視力を守るための治療方針 大津赤十字病院 眼科部長 山城 健児	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 バイエル薬品(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 1月27日(木) 19:00～21:00 県医師会館	最近、一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月3日(木) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	最近、一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月14日(月) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	最近、一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月17日(木) 14:00～16:00 県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 17 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月24日(木) 19:00～21:00 県医師会館	精神科産業医が遭遇する困難事例(2) 産業保健相談員 西都病院 医師 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

 あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	b	a	c	d	d	c, d	e	b, c	c

診療メモ



舌下免疫療法における樹状細胞の役割について

宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 宮 永 宜 明

はじめに

アレルギー疾患は、この30年間で先進国を中心にその患者数が急激に増加し、今やわが国においても国民の約30%が罹患している国民病とも言える状態にある。更に今後も環境や生活様式などのさまざまな要因からアレルギー疾患の罹患率が上昇することが予想され、QOLの低下や医療費増加などの社会的・経済的損失が大きな社会問題となることが懸念されている。アレルギー疾患の治療では、副腎皮質ステロイドホルモン、免疫抑制剤、抗アレルギー薬などを用いた対症療法が中心であるが、根本的な治療法に至らず、奏功性の向上や副作用の克服が課題である。

舌下免疫療法について

100年以上の歴史をもつアレルゲン特異的免疫療法として知られる皮下免疫療法 (subcutaneous immunotherapy ; SCIT) はアレルゲンを皮下投与することによりアレルギー反応を低下させる減感作療法であり、根治的治療効果が期待されている。また、SCITのアレルギー免疫応答修飾として、1型ヘルパーT (type 1 helper T ; TH1) 細胞/TH2細胞応答のバランス偏向に基づくアレルゲン特異的Immunoglobulin (Ig) E抗体産生抑制とIgG抗体産生亢進が考えられている。しかしながら臨床現場においてSCITが

普及しているとは言い難い。要因としては頻回な通院の必要性や投与時の疼痛、アナフィラキシーショックなどの副作用のリスクなどが考えられる。

舌下免疫療法 (Sublingual immunotherapy ; SLIT) は、スギ花粉症とダニアレルギー性鼻炎に対して、保険適用された減感作療法であり、SCITと比較してより安全性の高い、アレルギー疾患の根治的治療法としての可能性が注目されている。SLITの作用機序において、免疫抑制性のT細胞であるCD4⁺Foxp3⁺制御性T (regulatory T ; Treg) 細胞の関与する免疫寛容の誘導、免疫抑制性サイトカインの産生、アレルゲン特異的IgEに対する拮抗抗体の産生などが示唆されているが、これらの明確な関与はいまだ証明されておらず、不明な点が多く残されている。また、SLITの適用疾患は上述のアレルギー疾患に限定されており、他のアレルギー疾患に対する有用性については検証されていないのが現状である。

我々は顎下リンパ節に存在する通常型樹状細胞 (conventional dendritic cells ; cDCs) の機能に着目し、アレルギー疾患に対するSLITの防御効果とその作用機序におけるcDCsの役割についてマウスモデルを用いて検討した。本稿ではそれにより得られた知見を紹介する。

初めにSLITにより舌下投与された抗原の大部分は舌下粘膜組織に存在するcDCsのうち移動性CD11b⁺cDCsに捕食され、顎下リンパ節に移行することを見出した。次に、顎下リンパ節に移行した抗原捕食移動性CD11b⁺cDCsはナイーブCD4⁺T細胞へ抗原刺激や抑制性共刺激とともに形質転換増殖因子 (transforming growth factor ; TGF)- β とレチノイン酸 (retinoic acid ; RA) を供与することによりCD4⁺Foxp3⁺Treg細胞を生成し、粘膜免疫寛容を成立させることを明らかにした。更に、SLITにより顎下リンパ節において生成された抗原特異的CD4⁺Foxp3⁺Treg細胞が末梢組織において抗原特異的TH2/濾胞ヘルパーT (follicular helper T ; TFH) 細胞の機能阻害や、B細胞/形質細胞による抗原特異的抗体の産生抑制を介することでSLITによるアレルギー病態抑制効果に関与することを明らかにした。すなわち、舌下粘膜組織の移動性CD11b⁺cDCsは顎下リンパ節内粘膜免疫寛容の

成立を制御し、SLITのアレルギー疾患に対する防御効果に重要な役割を担うことが明らかとなった。(図; Essential role of submandibular lymph node dendritic cells in protective sublingual immunotherapy against murine allergy. Communications Biology 2020 ; 3 : 742 参照)

おわりに

アレルギー性鼻炎に対する治療の一つとして、近年、喘息などに適応のあった生物学的製剤が適応拡大され注目されている。重症度や年齢など適応に制限はあるが、他の生物学的製剤の承認を含め、治療選択の一つとして期待される。

SLITについては、更なる適応疾患の選定や作用機序の解明とともにSLITの有効性を示すバイオマーカーの探索が進むこと、ゆくゆくはアレルギー・マーチ抑制効果の検討にも期待したい。

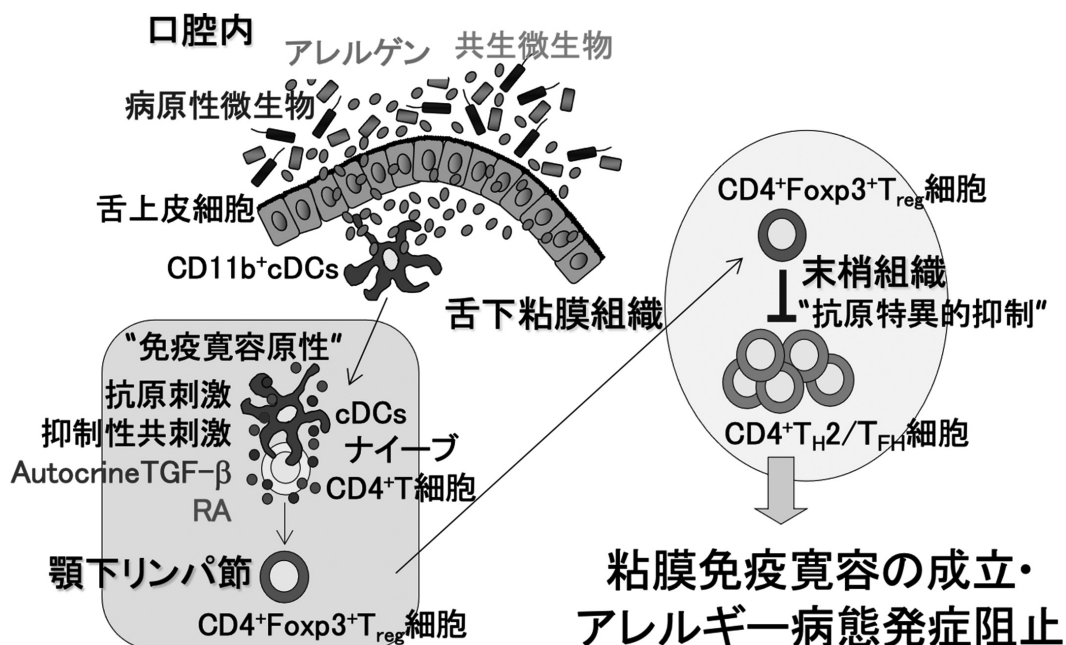


図 SLITにおけるcDCsの役割

宮大医学部学生のページ



部活動紹介 ～陸上競技部～

宮崎大学医学部 医学科5年 ^{よし}吉 ^だ田 ^{とも}朋 ^{ふみ}史

15個。これは、今年に入って更新された陸上の日本新記録の数です。近年は競技用シューズの技術革新等の影響もあり、陸上界では日本のみならず世界で記録ラッシュが続いています。実際に、今年行われた東京オリンピックでの日本人選手の活躍が記憶に新しい方も多いのではないのでしょうか。そうしたアスリートの活躍に刺激を受けてか、少し宮崎市内まで足を延ばしてみると多くの市民ランナーの方が練習に取り組む姿を目にすることができます。シューズと運動しやすい服さえあれば誰でも始められる敷居の低いスポーツである陸上競技は、近年改めて国内で大きな盛り上がりを見せています。

私たち宮崎大学医学部陸上競技部は現在、選手22名、マネージャー20名、ジョグ41名、計83名の部員が在籍しております。規模としては医学部のサークルの中で最多人数をほこります。選手は火木土の週3回、木花キャンパスのグラウンドにて、専門種目に分かれて練習に励んでいます。マネージャーは選手の走るタイムを読み上げたり、練習中の給水をしてくれたりすることで、選手のサポートをしてくれる心強い存在です。ジョグパートの部員は火木のうち週に1回以上部活に来てみんなでジョギングを行い楽しく体を動かしています。活動時間は、

平日は放課後に2時間、休日は午前中に3時間程度です。練習日程は、選手は週3回、マネージャーはシフト制、ジョグは週1回以上とそんなに大変ではないので、兼部をしている部員が多数在籍しています。

部員数が多い私たちの部では毎年多くのイベントを行っています。近年は新型コロナウイルスの影響で開催できていないものも多くあるのですが、春はお花見、夏はバーベキュー、秋はハロウィン、冬は地方の駅伝大会への参加といった、季節ごとのイベントはもちろん、その時の幹部が部員の意見を汲んでイベントを開催してくれます。先日は、今年西医体がなかった代わりとして部内記録会を行いました。他の部員が応援してくれる非常に和やかな雰囲気の中で、日頃の練習の成果を確かめることができました。部としてのパートは前述した3つに分かれているのですが、練習の合間やこうしたイベントの際によく話をするので、部全体として先輩後輩分け隔てなく、仲良く活動しています。

陸上競技部の主要な大会は2つあります。4月に行われる九州山口医科学生体育大会（九山）と、8月の西日本医科学生体育大会（西医体）です。これらの医学部関連の大会では、他大学の学生と交流を深めつつ切磋琢磨していま

す。私たちの部は、この2つの大会では毎年安定して入賞者を輩出しています。また、九山・西医体以外でも、隣県にある鹿児島大学と年に2回、合同合宿を開催することで交流を深めています。しかし、残念ながらここ2年ほどは新型コロナウイルスの影響でこれらの大会・合宿が開催できておりません。そんな中でも、部員一人一人が自分の課題と向き合って日々練習に取り組んでおります。

最後になりますが、私たちがこのようにいつも楽しく目標に向かって練習に集中することができているのは、顧問の菱川先生やOB・OGの方々のご支援のおかげであります。これからも感謝の気持ちを忘れずに少しでも良い報告ができるよう、練習に励む所存でありますので、今後とも応援のほどなにとぞよろしくお願いいたします。



2019年度、宮崎開催での九山の集合写真



普段の練習風景（選手・長距離）



先日の部内記録会の様子

令和3年 総目次 (No.857~No.868)

【表紙】

桜島・冬の朝	都 城 市	淵 脇 和 男	1月号
冬の青い池	都 城 市	山 路 健	2月号
静寂	宮 崎 市	丸 田 英 夫	3月号
白梅の（島木赤彦のうた）	宮 崎 市	弓 削 三重子	4月号
風景，北欧	高千穂町	佐 藤 秀 子	5月号
夕照（セキショウ）	宮 崎 市	楠 元 正 輝	6月号
送元二使安西	宮 崎 市	山 内 励	7月号
祭が帰る	宮 崎 市	竹 尾 康 男	8月号
うずまき	宮 崎 市	谷 口 二 郎	9月号
雲海（矢岳高原の朝）	都 城 市	山 路 健	10月号
ニャハハ	都 城 市	酒 井 美絵子	11月号
父と息子	宮 崎 市	浅 見 鳴 子	12月号

【会長のページ】

年頭所感	会 長	河 野 雅 行	1月号
3（三）について			2月号
始まりと終わり			3月号
両立支援			4月号
伝達力不足			5月号
コロナとワクチン			6月号
補助金，診療報酬加算			7月号
九医連担当を終えて			8月号
2020東京オリンピック・パラリンピック			9月号
医科点数表（青本）			10月号
オンライン診療			11月号
AIについて			12月号

【COVID-19報告】

新型コロナウイルス感染症に係る県医師会の動き	常任理事	吉 田 建 世	2～12月号
------------------------	------	---------	--------

【日州医談】

医師の働き方改革	常任理事	池 井 義 彦	2月号
----------	------	---------	-----

オンライン診療	常任理事	金 丸 吉 昌	3月号
令和3年介護報酬改定から考える、かかりつけ医の役割			
	常任理事	石 川 智 信	4月号
コロナ禍の「新しい生活様式」に対応する産業保健活動について			
	常任理事	瀬ノ口 洋 史	5月号
学校保健の立場から子どもにとっての新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について			
	常任理事	高 木 純 一	6月号
「再生産数」から考える感染対策	理 事	峰 松 俊 夫	7月号
医師国保とロコモ・フレイル	理 事	川 野 啓一郎	8月号
医師国保からみたコロナ禍の長期化	理 事	佐々木 究	9月号
医師の働き方改革－その3～勤務医の立場から～	理 事	岩 村 威 志	10月号
新型コロナウイルス感染禍における妊婦管理	副 会 長	濱 田 政 雄	11月号

【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	中 川 俊 男	1月号
年頭所感	顧 問	秦 喜八郎	1月号
年頭所感	顧 問	稲 倉 正 孝	1月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	川 名 隆 司	1月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	田 口 利 文	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	佐 藤 信 博	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	千代反田 晋	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市西児湯医師会長	松 本 英 裕	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	西諸医師会長	内 村 大 介	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	植 松 昌 俊	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	鮫 島 浩	1月号
年頭所感	内科医会長	比 嘉 利 信	1月号
年頭所感	小児科医会長	高 村 一 志	1月号
年頭所感	外科医会長	白 尾 一 定	1月号
年頭所感	整形外科医会長	松 本 宏 一	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	田 尻 明 彦	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	肥 後 貴 史	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	蓑 田 国 広	1月号

年頭所感	眼科医会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井 手 稔	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	放射線科医会長	杜 若 陽 祐	1月号
年頭所感	東洋医会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号
年頭のご挨拶	宮崎大学長	池ノ上 克	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（1区）	武 井 俊 輔	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（2区）	江 藤 拓	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（3区）	古 川 禎 久	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長 峯 誠	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員・元日本医師会副会長	羽生田 俊	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	自 見 はなこ	1月号

【特集 医療秘書】

(1)医療事務・医療秘書の歴史的展開－医療の近代化に貢献した明治の事務員－

教 授 黒 野 伸 子 9月号

(2)「地育地活」の人材育成

学科主任 吉 原 真由美 10月号

(3)宮崎学園短期大学 現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース

教 授 黒 野 伸 子 11月号

准 教 授 武 村 順 子

(4)日本医師会認定医療秘書について

常任理事 池 井 義 彦 12月号

【随想・随筆】

セミ・リタイアメント パート2

宮 崎 市 細 見 潤 3月号

天照大御神の依り代八咫鏡雑感

宮 崎 市 古 賀 繁 喜 6月号

竹箒と私ひとり

都 城 市 安 藤 健 一 9月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

新人採用

宮 崎 市 谷 口 二 郎 1月号

還暦の年明けに思う

都 城 市 吉 住 秀 之 1月号

ビアホール

宮 崎 市 小 澤 仁 雄 1月号

故郷の海

川 南 町 田 村 正 三 1月号

思い出の「ぎふ清流ハーフマラソン」

宮 崎 市 先 成 英 一 1月号

最後の仕事

宮 崎 市 河 野 寛 一 1月号

2020年新型コロナウイルス対策奮闘記	延岡市	安藤 誠	1月号
80才以上は運転免許返納を！	宮崎市	田島 直也	1月号
キュビズム ピカソが描いた世界	小林市	鈴木 宣彰	1月号
旧を訪えば	西都市	児玉 芳久	1月号
愛犬のいない還暦を迎えて	宮崎市	村岡 敬介	1月号
哺乳類の新聴覚機構の正夢「外有毛細胞共振説」	宮崎市	森 満 保	1月号
耳順になって思うこと	宮崎市	石坂 裕司郎	1月号
7度目の干支	宮崎市	大坪 睦郎	1月号
マニアックな海外旅行再開への期待	小林市	大塚 伸昭	1月号
憧れの熱帯産フルーツ	宮崎市	田中 宏幸	1月号
断捨離としての映画資料	宮崎市	大西 雄二	1月号
歳をとると山登り	延岡市	金井 一男	1月号
尿酸と血圧	高千穂町	佐藤 祐二	1月号
7頭目の牛を迎えて。	延岡市	前田 資雄	1月号
2021年を迎えて	宮崎市	野間 健之	2月号
タルトタタン	高鍋町	大森 史彦	2月号
さるく	延岡市	長沼 弘三郎	2月号
ためになるけど少し苦しいWeb学会参加	えびの市	井尻 裕司	2月号
お正月	宮崎市	高田 慎吾	2月号
伝統	高鍋町	坂田 師隣	2月号
木漏れ日	日南市	山口 和正	2月号
走る愉しみ	日向市	伊藤 康司	2月号
父親	高原町	川井田 望	2月号
丑年はいいヤツが生まれる	高鍋町	坂田 師通	2月号
日記	宮崎市	永山 武章	2月号
イエローカード	宮崎市	山村 善教	2月号
「年男」をきっかけに次の12年間を考えてみた	宮崎市	小松 弘幸	2月号
都城市消防団第2分団第6部	都城市	柏木 輝行	2月号
ホットヨガを始めて	宮崎市	新城 歌子	2月号
五十肩体験	日南市	飛松 正樹	2月号

【はまゆう随筆・短歌・俳句】

氣息奄奄	宮崎市	加藤 雅俊	7月号
烏口突起	串間市	川 畠 尚志	7月号

パパんペンペン…	日南市	北村和生	7月号
ラジコンその2	宮崎市	加藤丈司	7月号
コロナ禍の学会発表に思う	宮崎市	田島直也	7月号
私の趣味、3台の格安旧車～車好きな人への小話～	都城市	吉松成博	7月号
メル、すまん…	宮崎市	田畑直人	7月号
観光列車「36+3」と大分の旅	宮崎市	名越敏秀	7月号
生命保険会社勤務時代の思い出	小林市	大塚伸昭	7月号
神経質な優しさ？	宮崎市	谷口二郎	7月号
日の目を見たICU	宮崎市	高崎真弓	7月号
私の外国語学習	宮崎市	大西雄二	7月号
旅の楽しみ一宿について	宮崎市	石川恵美	7月号
喜寿を迎えて	えびの市	志戸本宗徳	7月号
散歩	宮崎市	楠元正輝	7月号
古希までの仕事を振り返って	延岡市	野田寛	7月号
台湾・尖閣諸島に思うこと	宮崎市	横田直人	7月号
人情噺	宮崎市	竹尾康男	8月号
川南湿原	西都市	岩見晶臣	8月号
心は皮膚にあるという説	宮崎市	加嶋亜紀	8月号
緑風荘宿泊記	宮崎市	田中善久	8月号
古希を迎えて	延岡市	税所幸一郎	8月号
ちょっと内緒のお話	宮崎市	市原美宏	8月号
コロナが終息したら	高鍋町	坂田師通	8月号
学校医の役割	宮崎市	原田一道	8月号
喜寿の芸術展	延岡市	長沼弘三郎	8月号
老化防止のために始めたこと	宮崎市	浅田敬子	8月号
手話を学ぶ	宮崎市	岩崎直哉	8月号
私の歩いた人生「イロハ」	延岡市	宝珠山弘	8月号
COVID-19の短歌	宮崎市	長嶺元久	8月号

【エコー・リレー】

Macユーザー	三股町	畠中道己	1月号
ガーデニングで思うこと	宮崎市	松浦喜久子	1月号
引越し癖	串間市	野田隆	2月号
変化の先に、願いを込めて	宮崎市	岩切美千代	2月号

習慣はこわい!?	高鍋町	高山修二	3月号
趣味について	都城市	高城健司	3月号
睡眠時間	宮崎市	山崎俊輔	4月号
感心しました	宮崎市	松田裕	4月号
腰を抜かす	門川町	柚留木隆憲	5月号
最近の興味あること	宮崎市	牧田昌平	5月号
運動オンチ?	宮崎市	國枝良行	6月号
ゲームと私	宮崎市	榎英俊	6月号
コロナ禍の運動不足	宮崎市	中島真也	7月号
昔話	宮崎市	久永修一	7月号
一竿風月	宮崎市	長澤伸二	8月号
私を悩ませるもの	都城市	西浦亮介	8月号
アタックチャンス!	高鍋町	加来志保	9月号
禍災	宮崎市	中川秀人	9月号
寄生者	宮崎市	喜島博章	10月号
上原内科について	宮崎市	上原大輔	10月号
63年前の小学校のクラス発表	宮崎市	八尋克三	11月号
耳が聴こえない	宮崎市	上野満	11月号
新型コロナウイルス	宮崎市	平部久彬	12月号
開業とその後の日常について	宮崎市	池田俊郎	12月号

【叙位・叙勲】

令和2年1月～12月までの叙勲及び・表彰・祝賀受賞会員			1月号
旭日双光章	都城市北諸県郡医師会	夏田康則	6月号
瑞宝双光章	宮崎市郡医師会	原田一道	6月号
教育研究功労により瑞宝中綬章	宮崎大学医学部医師会	高崎真弓	12月号
保健衛生功労により旭日双光章	宮崎市郡医師会	立元祐保	12月号

【褒章・祝賀】

保健衛生功績により藍綬褒章	日向市東臼杵郡医師会	二宮嘉正	12月号
---------------	------------	------	------

【表彰・祝賀】

公衆衛生功労により県知事表彰	宮崎市郡医師会	獅子目賢一郎	2月号
公衆衛生功労により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	淵脇和男	2月号
公衆衛生功労により県知事表彰	延岡市医師会	山本剛	2月号

公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

都城市北諸県郡医師会 速 見 晴 朗 4月号

公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

西都市西児湯医師会 大 塚 和 子 4月号

公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

南那珂医師会 山 元 敏 嗣 4月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰 延岡市医師会 早 田 泰 英 4月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

日向市東臼杵郡医師会 渡 邊 康 久 4月号

産科医療功勞により厚生労働大臣表彰 宮崎市郡医師会 細 川 義 明 4月号

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰 宮崎市郡医師会 古 賀 和 美 4月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 宮崎市郡医師会 作 和 明 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 宮崎市郡医師会 篠 原 義 成 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 宮崎市郡医師会 柴 田 博 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 宮崎市郡医師会 三 原 敬 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

都城市北諸県郡医師会 鷗 木 俊 秀 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

都城市北諸県郡医師会 田 中 隆 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 延岡市医師会 岸 重 雄 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 延岡市医師会 戸 島 信 夫 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 延岡市医師会 宮 田 純 一 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 西諸医師会 押 川 達 巳 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 西諸医師会 川井田 繁 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 西諸医師会 新 添 謙 一 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 西諸医師会 野 本 浩 一 9月号

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰 西諸医師会 榎 健一郎 9月号

救急医療事業功勞により県知事表彰 宮崎市郡医師会 牛 谷 義 秀 10月号

救急医療事業功勞により県知事表彰 都城市北諸県郡医師会 大 岐 照 彦 10月号

救急医療事業功勞により県知事表彰 西都市西児湯医師会 鶴 田 曜 三 10月号

産科医療功勞により厚生労働大臣表彰 宮崎市郡医師会 金 田 太 郎 10月号

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰 宮崎市郡医師会 比 嘉 利 信 10月号

国民健康保健事業功勞により国民健康保険中央会表彰

宮崎市郡医師会 甲 斐 眞 弘 12月号

国民健康保健事業功勞により国民健康保険中央会表彰

宮崎市郡医師会 中 崎 秀 二 12月号

国民健康保健事業功勞により国民健康保険中央会表彰

宮崎市郡医師会 姫 路 大 輔 12月号

精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰 宮崎市郡医師会

中 村 究 12月号

精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰

日向市東臼杵郡医師会 堀 徹 也 12月号

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰 宮崎市郡医師会

植 木 義 裕 12月号

精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰 宮崎市郡医師会

古 郷 博 12月号

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

宮崎市郡医師会 小 野 武 己 12月号

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

日向市東臼杵郡医師会 稲 原 明 肆 12月号

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

森 山 重 人 12月号

【挨拶】

県立宮崎病院 院 長 嶋 本 富 博 6月号

宮崎市郡医師会病院 特別参与 池ノ上 克 12月号

宮崎大学 学 長 鮫 島 浩 12月号

宮崎大学医学部 医学部長 菱 川 善 隆 12月号

宮崎大学医学部附属病院 病 院 長 帖 佐 悦 男 12月号

【新任教授挨拶】

附属病院 医療安全管理部 教 授 綾 部 貴 典 6月号

内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教 授 海 北 幸 一 11月号

機能制御学講座 循環動態生理学分野 教 授 渡 邊 望 12月号

内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教 授 宮 崎 泰 可 12月号

外科学講座 心臓血管外科学分野 教 授 古 川 貢 之 12月号

附属病院 リハビリテーション部 教 授 荒 川 英 樹 12月号

【退任教授挨拶】

外科学講座 心臓血管外科学分野 教 授 中 村 都 英 7月号

内科学講座 免疫感染病態学分野 教 授 岡 山 昭 彦 11月号

【あなたできますか？】

各 号

【宮崎県感染症発生動向】

各 号

【メディアの目】

コロナ禍で定着したローカルニュースの「新たな伝え方」

	テレビ宮崎 報道部 部長	井 上 豊	2月号
宮崎本来の姿に戻って	宮崎日日新聞社 報道部長	戸 高 大 輔	3月号
デジタル時代のローカル報道	MRT宮崎放送 報道部長	藺 田 康 人	4月号
ウイルスとの戦い	南日本新聞 宮崎支局長	川 野 裕 和	5月号
マスク	NHK宮崎放送局 放送部長	松 本 健一郎	6月号
宮崎県民がウインカーを出さない理由	朝日新聞社 宮崎総局長	佐 藤 修 史	7月号
死後もVIP待遇	共同通信社 宮崎支局長	上 野 敏 彦	8月号
感じていたい信頼と安心	時事通信社 宮崎支局長	舟 木 靖	9月号
コロナ禍の闇に耐えて	読売新聞 宮崎支局長	若 松 健 一	10月号
ガラミが結んだ宮崎と福岡の縁	西日本新聞 宮崎支局長	佐 伯 浩 之	11月号
宮崎の未来 肥満の影	毎日新聞 宮崎支局長	梅 山 崇	12月号

【郡市医師会だより】

都城市北諸県郡医師会（メイン）	理 事	江 夏 剛	2月号
延岡市医師会（メイン）	会 長	佐 藤 信 博	3月号
日向市東臼杵郡医師会（メイン）	会 長	千代反田 晋	4月号
児湯医師会（メイン）	理 事	永 友 淳 司	5月号
西都市西児湯医師会（メイン）	副 会 長	黒 木 重 晶	6月号
南那珂医師会（メイン）	会 長	中 村 彰 伸	7月号
西諸医師会（メイン）	理 事	吉 村 雄 樹	8月号
西臼杵郡医師会（メイン）	理 事	古 賀 志 朗	9月号
宮崎大学医学部医師会（メイン）	会 長	鮫 島 浩	10月号
宮崎市郡医師会（メイン）	副 会 長	山 村 善 教	11月号
都城市北諸県郡医師会（メイン）	理 事	福 島 義 隆	12月号

【国公立病院だより】

宮崎県立こども療育センター	所 長	川 野 彰 裕	5月号
椎葉村国民健康保険病院	院 長	吉 持 厳 信	7月号
国民健康保険高原病院	院 長	池 田 直 徳	9月号
宮崎市総合発達支援センター	センター長	大 庭 健 一	11月号

【宮崎大学医学部だより】

医療人育成支援センター	教 授	片 岡 寛 章	2月号
宮崎大学医学部附属病院 手術部	医 局 長	石 山 健次郎	3月号
感覚運動医学講座 整形外科学分野	医 局 長	濱 中 秀 昭	4月号
宮崎大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター	副センター長	山 田 直 史	5月号
フロンティア科学総合研究センター	センター長	加 藤 丈 司	6月号
感染症学講座 寄生虫学分野	教 授	丸 山 治 彦	7月号
宮崎大学医学部附属病院コミュニティ・メディカルセンター	教 授	近 藤 千 尋	8月号
発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野	医 局 長	此 元 隆 雄	9月号
宮崎大学医学部内科学講座			
内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野	医 局 長	坪 内 拡 伸	10月号
	副医局長	宮 内 俊 一	
宮崎大学医学部附属病院 薬剤部	教 授	池 田 龍 二	11月号
感覚運動医学講座 顎顔面口腔外科学分野	教 授	山 下 善 弘	12月号

【専門分科医会だより】

精神科医会	会 長	吉 田 建 世	3月号
眼科医会	会 長	中 村 彰 伸	4月号
透析医会	会 長	藤 元 昭 一	6月号
小児科医会	会 長	高 村 一 志	7月号
泌尿器科医会	会 長	養 田 国 広	8月号
産婦人科医会	会 長	肥 後 貴 史	9月号
耳鼻咽喉科医会	会 長	井 手 稔	10月号
放射線科医会	会 長	杜 若 陽 祐	12月号

【部会だより】

労災部会	部 会 長	田 中 俊 正	5月号
園医部会	部 会 長	高 山 修 二	11月号

【報告（宮崎県医師会各種委員会）】

医学賞選考委員会			2月号
医学会誌編集委員会			4月号
宮崎県医師会医学会役員会			5月号
医師確保対策委員会			6月号
医学会誌編集委員会			10月号

【報告（諸会議）】

第1回各郡市医師会長協議会	1月号
令和2年度各専門分科医会長会	1月号
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	1月号
九州医師会連合会令和2年度第1回各種協議会	1月号
令和2年度医師会立看護学校担当理事連絡協議会	2月号
臨時各郡市医師会長協議会	2月号
第120回九州医師会総会・医学会	3月号
第2回各郡市医師会長協議会	3月号
九州医師会連合会第389回常任委員会	3月号
九州医師会連合会令和2年度第2回各種協議会	4月号
第3回各郡市医師会長協議会	4月号
宮崎県医師会創立132周年記念医学会	5月号
All Miyazaki研修医スタートアップセミナー	5月号
第1回各郡市医師会長協議会	6月号
第174回宮崎県医師会定例代議員会（概要）	8月号
令和3年度第78回宮崎県医師会総会	8月号
九州医師会連合会第390回常任委員会	8月号
令和3年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	8月号
九州医師会連合会第391回常任委員会	9月号
九州医連連絡会第31回常任執行委員会	10月号
令和3年度九州学校検診協議会幹事会	10月号
九州各県医師会学校保健担当理事者会（日本医師会学校保健担当理事との懇談会）	10月号
第65回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和3年度九州学校検診協議会（年次大会）	10月号
九州医師会連合会第392回常任委員会	11月号
九州医師会連合会第393回常任委員会	11月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会第71回定例総会・令和3年度第1回運営委員会【Web会議】	11月号
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	12月号
第2回各郡市医師会長協議会	12月号
県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	12月号

【報告（その他）】

第22回宮崎県医師会医家芸術展	10月号
-----------------	------

【宮崎県医師協同組合だより】

医師協同組合提携のメディカルカードについて	1, 7月号
医師賠償責任保険 おすすめオプションのご案内	3月号
医師賠償責任保険のご案内	5月号
宮崎県医師協同組合第37回通常総代会	8月号
医師求人情報検索システム「みやざきドクターバンク」について	9月号
グループ保険（団体定期保険）のおすすめ	11月号

【宮崎県医師国保組合だより】

保健事業のご案内	1～3, 6～8, 10～12月号
第25回歩こう会の開催中止について	2月号
令和3年度の保険料賦課について	4月号
国民健康保険法第116条にかかる届出のお願い	4月号
令和2年度宮崎県医師国民健康保険組合第124回通常組合会	5月号
令和3年度 宮崎県医師国民健康保険組合第125回通常組合会	9月号

【追悼のことば】

吉 山 政 敏 先生	都城市北諸県郡医師会	11月号
------------	------------	------

【ニューメンバー】

伊 藤 麻 子（いとう あさこ）	6月号
三 好 良 英（みよし りょうえい）	7月号
難 波 清（なんば きよし）	8月号
森 園 健 介（もりぞの けんすけ）	10月号
井 上 正 浩（いのうえ まさひろ）	12月号

【診療メモ】

腰痛を知ろうーガイドラインで学ぶ腰痛診療の最前線ー

独立行政法人国立病院機構宮崎東病院 整形外科	黒 木 浩 史	1月号
子どものおもちと傷害予防 宮崎県立宮崎病院 小児科	大 平 智 子	2月号
病理医からみたがんゲノムパネル遺伝子検査		
宮崎大学医学部附属病院 病理診断科・病理部	佐 藤 勇一郎	3月号
食道胃接合部癌の診断と外科治療 宮崎県立宮崎病院外科 部長	日 高 秀 樹	4月号
人格（パーソナリティ）障害への対応		
宮崎県精神保健福祉センター 所長	直 野 慶 子	5月号
HPV（Human papillomavirus）ワクチンについて		
県立宮崎病院 産婦人科 医長	高 村 一 紘	6月号

透析患者への薬剤投与の注意点	古賀総合病院 腎臓内科	久 永 修 一	7月号
モンスターペイシェント対策と事前準備について			
	弁護士法人きさらぎ 弁護士	高 山 桂	8月号
コロナ禍のメンタルヘルス～女性と若者に目配りを～			
	宮崎大学安全衛生保健センター	武 田 龍一郎	9月号
電気で治療する！～脊髄刺激療法（Spinal Cord Stimulation:SCS）とは？～			
	潤和会記念病院 ペインクリニック科	立 山 真 吾	10月号
子宮内膜症の臨床	宮崎善仁会病院	米 田 由香里	11月号
舌下免疫療法における樹状細胞の役割について			
	宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室	宮 永 宜 明	12月号

【私が推薦する本】

「寅市つれづれ日記」「じいちゃんありがとう」	宮 崎 市	青 木 洋 子	8月号
------------------------	-------	---------	-----

【身近なお困りごと相談室】

第1回：職員退職後の情報漏洩			11月号
第2回：業務上の注意とパワハラ			12月号

【宮大医学部学生のページ】

Remote Music Festival 2020	医学科4年	村 瀬 希	1月号
「ALL TSUNO」での学び	医学科5年	米 良 大 雅	2月号
部活動紹介～ゴルフ部～	医学科4年	堀之内 友 也	3月号
医師国家試験と国試対策委員会の活動	医学科6年	有 田 圭 佑	4月号
2020年度国家試験の結果報告と課題			
	宮崎大学第116回国家試験対策委員会 委員長	梶 田 凌	5月号
令和3年度新入生歓迎委員よりご報告	医学科4年	東 佑 樹	6月号
部活動紹介～ヨット部～	医学科4年	糸 川 莉 子	7月号
音楽祭ご報告	医学科4年	崔 慧 瑩	8月号
研究室配属感想～機能制御学講座 循環動態生理学分野～			
	医学科3年	吉 田 日 和	9月号
部活動紹介～硬式テニス部～	医学科3年	石 川 俊 樹	10月号
カリキュラム変更とコロナ禍における学生会の役割	医学科5年	河 野 大 地	11月号
部活動紹介～陸上競技部～	医学科5年	吉 田 朋 史	12月号

【その他】

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員名簿（医科）			2月号
社会保険診療報酬請求書審査委員会委員名簿（医科）			7月号

令和3年総目次

12月号

【お知らせ】

宮崎県医療勤務環境改善支援センター	各 号
郡市医師会への送付文書	各 号
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	各 号
「はまゆう随筆」原稿募集	5, 6月号
「新春随想」原稿募集	10, 11月号
カット・イラストの募集	7, 8, 11月号
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	1～3, 7, 9月, 12月号
医師資格証を持ちましょう	1～3, 5, 7月号
医療事故調査制度相談窓口	2, 6月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	5月号
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	2, 4, 10月号
令和3年度宮崎県医師会諸会費について	4月号
勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～（医師会・医師協同組合）	3月号
宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の取組みに係る医療機関対象調査について	4月号
女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	3, 5, 6, 8, 10月号
第22回宮崎県医師会医家芸術展	7, 8月号
第22回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！	4, 5月号
第5回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	7～9月号
地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	5～10月号
日州医事投稿についてのお知らせ	11月号
日本医師会医師年金ご加入のおすすめ	6～8, 10月, 12月号
日本医師会員向けキャッシュレスサービス	7, 9月号
年末・年始の休館について	12月号
令和3年度宮崎県医師会親善ゴルフ大会中止のお知らせ	9月号
令和3年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	7, 8, 10, 11月号

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月11日	・ 検査料の点数の取扱いについて ・ 現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について ・ 歯科医師の医科麻酔科研修のガイドラインについて ・ 「新型コロナウイルス感染症の検査体制整備に関する指針」について ・ 新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（中和抗体薬の種類及び疑義応答集の追加・修正） ・ 令和3年度介護職員処遇改善加算等研修会の実施について ・ 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金について ・ 「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行について（通知）」の一部改正について ・ 「再編計画に係る登録免許税の軽減措置の適用について」の一部改正について ・ 令和3年度病床機能報告の実施等について（通知）
10月12日	・ 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その77）」の送付について
10月13日	・ 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について ・ 令和3年度新型コロナウイルス感染症に係る労災診療費等の臨時的な取扱いについて（その2） ・ 日本医師会かかりつけ医診療データベース研究事業（J-DOME）参加協力をお願い ・ 「初めての外国人患者受入れ体制整備始め方・進め方～基本の3ステップとその具体的手法の紹介～」におけるWebセミナー開催案内について ・ 腰痛予防動画サイト開設のご案内（周知依頼） ・ NBCR対策推進機構 第1回「医療従事者・消防職員等のためのCBRNE災害医療対策講習会」の開催について（再依頼） ・ 「令和3年度 地域医療構想の実現・働き方改革の推進に向けた病院管理者研修」の参加者推薦について ・ 新型コロナウイルス感染症に係る検査並びにワクチン及び治療薬の治験体制整備のための医療法上の取扱いについて ・ 外国人在留支援センター（FRESC）多言語ワクチン接種サポートの開設について ・ 新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（中和抗体薬の種類及び疑義応答集の追加・修正） ・ 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の終了に伴う周知依頼について
10月15日	・ 病院の耐震改修の状況の調査について ・ 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金の周知について（依頼）
10月18日	・ 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その78）」の送付について

送付日	文 書 名
10月19日	・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）に使用するファイザー社ワクチンの配分（3回目第1クール）について ・厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会における審議を受けた対応について ・防災推進国民大会2021の開催について ・「令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和3年度調査）への協力依頼について」の送付について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第4.1版）」について ・「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」の周知について ・新型コロナウイルスワクチンの医療従事者等への追加接種に係る意向調査について（依頼） ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」の一部改正に伴う検査検体の送付について ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度の継続実施について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その79）」の送付について
10月22日	・日本学校保健会主催講習会・研修会の開催について（依頼） ・「オンライン資格確認」本格運用開始について
10月26日	・新型コロナウイルスワクチンの個別接種に係る医療機関の収入に対する課税関係について（情報提供） ・公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業第66回報告書の公表について ・「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について ・厚生労働省主催「令和3年度慢性疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」の開催について（周知依頼） ・「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に関する追加資料（チェックリスト、フローチャート）について ・新型コロナウイルス感染症におけるレムデシビル製剤の薬価収載に伴う医療機関への配分等について（その3） ・コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）に係る「使用上の注意」の改訂について ・「結核医療の基準」の一部改正について ・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）に係る接種券等の印刷及び発送について ・技能実習介護の日本語能力要件を満たす新たな試験の周知について ・感染対策のための実地での研修に係る令和3年度における第四次募集について ・「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言等を踏まえた支援対象児童等への対応について」に関するQ&Aについて
10月29日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） ・指定難病の追加並びに診断基準及び重症度分類等の改正等について（周知依頼） ・「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に関する「医療機関のサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「医療情報システム等の障害発生時の対応フローチャート」について

送付日	文 書 名
10月29日	・臨床検査技師学校養成所指定規則第2条第10号に規定する適当な実習指導者について ・臨床検査技師の養成課程における臨地実習の実施について（協力依頼） ・季節性インフルエンザワクチンの供給について（令和3年10月時点の最新情報） ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する合理的配慮の提供の事例について（情報提供） ・令和3年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施について ・ファイザー社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて
11月1日	・新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査におけるゲノム解析及び変異株PCR検査について
11月2日	・日本医師会シンポジウム「全ての子どもが健やかに成長できるように～小児在宅ケアの推進を目指して～」の件 ・県民が安心して暮らせるための四師会協議会医療・介護人材の育成・確保対策ワーキンググループ 第2回在宅ノウハウ連携研修「在宅医療はワンチームで～褥瘡～」の開催について ・医療従事者のための児童虐待初期対応に関する研修について ・令和3年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施に伴う普及啓発について（依頼） ・令和3年度「児童虐待防止推進月間」の実施について（協力依頼） ・軽症患者等を対象とした新型コロナウイルス感染症治療薬の治験推進について ・介護サービス事業所・施設における令和3年10月以降の新型コロナウイルス感染症に対応するためのかかり増しの経費等への対応について（「令和3年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業の実施について」の一部改正について）
11月4日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の議論と追加接種に関する今後の見通しについて ・「病原微生物検出情報」の送付について ・医療機関を標的としたサイバー攻撃への対応について（注意喚起） ・「全国医師会産業医部会連絡協議会」webサイトの開設について ・母性健康管理指導事項連絡カードの改正および母性健康管理専用webサイトについて（周知依頼） ・小児慢性特定疾病の追加等について（周知依頼）
11月5日	・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第6.0版」の周知について ・新病院への移転に伴う外来診療及び救急の対応について ・第三者行為に係る診療報酬明細書（レセプト）の特記事項欄記載依頼文書の送付について（お願い） ・令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金の電子申請受付開始について ・日本医師会新型コロナワクチン速報【第14号】

送付日	文 書 名
11月9日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その80）」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その81）」の送付について ・高齢運転者等の交通事故防止対策に関するお願いについて ・令和3年度「児童虐待防止推進月間」ポスター・リーフレット等の送付について ・N95マスク等の個人防護具の取扱いについて ・新型コロナウイルスワクチンの時間外・休日の接種等の請求について ・新型コロナワクチン接種に係る費用請求及び1，2回目用予診票の変更について ・経済産業省 IT導入補助金2021について（情報提供） ・訪日外国人受診者医療費未払情報の報告に関する説明会のご案内 ・成年後見制度における診断書等の改定について ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する予防接種後健康状況調査の実施について ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた障害者支援施設等における対応について ・「新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業の実施について」の一部改正について（障害福祉サービス事業所等における令和3年10月以降の新型コロナウイルス感染症に対応するためのかかり増し経費等への対応について）
11月11日	・令和3年度 特定行為研修周知事業研修会について（依頼） ・「交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム」の開催について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その82）」の送付について ・検査料の点数の取扱いについて ・ワクチン接種記録システム（VRS）タブレット端末のソフトウェアアップデートについて ・「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver4.0」について ・今後の催物の開催制限等に関する取扱いについて（周知依頼） ・新型コロナウイルス感染症における抗体カクテル療法について ・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について（通知） ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（中和抗体薬の種類及び疑義応答集の追加・修正）
11月12日	・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第25回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 2020年 年報」の周知について（通知） ・NBCR対策推進機構 第9回「消防職員等や医療従事者のための生物テロ・感染症対策担当者養成講習会」の開催について ・災害拠点病院の調査について

あとかき



来、音楽祭、宿泊合宿の中止など、さまざまなことで制約を受けることが多く、今回の開催も心配していただけない喜びもひとしおだったことと思います。かくいう自分も、コロナ禍が始まる2019年1月に京都に行って以来、ほぼ宮崎県を出たことがなく、2年間ほどの宮崎県巣籠生活です。オンライン学会は楽な点が多い反面、やはりいろいろな地域への旅行の楽しみがなく、味気ない感じもします。現在1か月近く、宮崎県ではコロナ患者が発生しておりませんが、年明け早々にも第6波が懸念されております。現状にもだいたい慣れましたが、やはりかつてのように気楽に旅行ができる日常を懐かしく思います。時間的にも簡単には行けないという現実がありますが、TVなどで国内・海外の映像を見るごとに、行きたい旅行先が増えるばかりです。来年このまま大きな波がなければ、まずは学会現地参加から再開してみたいと思います。(長井)

コロナ感染者が急減しています。街にも活気が戻りつつあるようですが、どこか気持ち悪い感じがするのは急減の原因が定かではないからでしょう。ワクチンの効果だとか感染対策の効果だとかでは説明できないくらい、指数関数的に減少しています。RNAウイルスは変異をおこしやすいため、増殖に重要な遺伝情報に変異をきたし、自滅しつつあるとの説もあります。だとすれば逆に新たな変異により再び大流行がおこるシナリオもありえます。ワクチンだけでなく治療薬の普及が待たれます。(稲倉)

到達度試験が終了し、いよいよクリニカルクラックシップⅡが始まります。これまでは班員と実習を回っていましたが、これからは少ないときは自分1人で実習を回らないといけません。正直寂しいですが、Ⅱからは自分が選択した診療科を回るので、楽しんで実習に臨めたらなと思っています。実習が始まると毎日があっという間に過ぎてしまうので、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。(木村)

病院実習が始まりました。今までの授業の開始より一時間以上早い集合時間に間に合うよう、毎朝眠い目をこすりながら運転しています。初日からオペに入らせてもらったり、カンファレンスに参加させてもらったりと、今までの生活とは全く違う世界に突入した感じがして非常にワクワクしています。忙しくも充実しており、これから回る診療科も楽しみです。(平井)

11月中旬の日曜日、小学6年生の娘が無事修学旅行に出発しました。当初は5月に予定されていたものが、いったん9月に延期になり、再度延期で11月の予定となっていました。たび重なる延期でしたが、10月中旬ぐらいからコロナ患者数が落ち着いた結果、ようやく開催にこぎつけました。コロナ禍が始まって以

コロナ禍で時間的な余裕が少しできたため、減量目的にランニングを始めました。生まれてから一度も走ることに楽しみを感じることがありませんでしたが、さすがに何かしなければと一大決心をして始めました。5月に始めたころは、地獄に落ちたような思いで走っていましたが、徐々にスピードが速くなってくると、苦痛は自然と感じなくなりました。10月は合計70km以上走っていたことに驚きました。体重も15kg減り、長年悩まされていた腰痛や睡眠不足から解放され、生まれ変わったような気分になることがあります。(植田)

R3/11/19~22に京都大学11月祭が開催される予定で半年前から予約を押さえていました。学園祭自体は早々に完全Web開催になってしまいましたが、コロナ第5波が収まったところでせっかくなので強行しました。皆さん同じように考えていたようで京都は凄い人出でした。息子宅から京都駅までは約3kmですが渋滞につかまり、抜けるまで1時間、更に悪いことに高速でも事故渋滞が発生しており、帰りのフライトに乗り遅れて更に1泊です。反省。(菊池)

先日行われた宮崎大学医学部と県医師会の懇談会では、二人の女性教授の就任挨拶がありました。以前にある関係者から聞いた話では、ある程度の割合の女性教授がいなければ欧米からは高い評価が得られないとのことでした。女性に対して閉鎖的な大学とみなされるのでしょうか。今後も女性教授が増えることを期待します。(佐々木)

今月のトピックス

COVID-19報告 新型コロナウイルス感染症に係る県医師会の動き（11月5日現在）

コロナ禍となり、県医師会の吉田建世常任理事から新型コロナウイルス感染症への県医師会の活動報告をいただいておりますが、今年10月21日から宮崎県では感染者が出ていません。これもワクチン接種、地理的要因、国民性、日本の文化、ウイルスの消滅など、さまざまな要因が関係しているものと思われますが、関係各位の方々のご尽力があつてのことだと思います。このまま収束することを願うばかりです。

4 ページ

退任・就任挨拶

宮崎大学医学部では、新たな体制がスタートしています。宮崎県の医療を牽引する役割を担う重要な組織であり、コロナ禍で医療の連携が重要視される今、先生方からのご挨拶から、新しい関係性が良い方向に向いていると感じられます。これからの宮崎の医療に期待が持てる熱い想いを感じてください。

8 ページ

メディアの目 宮崎の未来 肥満の影

宮崎県が肥満県であることは、皆さんもご存じかと思います。宮崎県はアスリートばかりに目が向き、スポーツランド宮崎と謳いながら、県民がスポーツを楽しんだり、体を動かす環境が整っているとは思えません。毎日新聞 宮崎支局長である梅山崇さんから、今回、ご自身の経験をもとに宮崎の健康未来を語っていただきました。宮崎県が観光立県だけでなく、健康立県となることを切に願っています。

18 ページ

日 州 医 事 第868号 (令和3年12月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail: office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔、植田 雄一、高橋 典子、菊池 英維、
石田 康行、長井 慎成

学 生 委 員 横山慎太郎、木村 桃子、平井 昂也、安藤菜々子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、高木 純一、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介、牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円（但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）